# 取扱説明書（レクサス編）

# もくじ

もくじ ..... 0
ご使用になる前に ..... 1
はじめに ..... 2
安全にご利用になるために ..... 3
対応システムと診断機能 ..... 5
対応車種一覧 ..... 8
診断コネクタ取り付け位置 ..... 9
診断の準備 ..... 10
車両と接続します ..... 11
電源のON/OFF ..... 13
車種、システムを選択します ..... 15
診断機能 ..... 21
自己診断機能 ..... 22
データ表示機能 ..... 29
保存データ表示機能 ..... 47
アクティブテスト機能 ..... 58
作業サポート機能 ..... 62
カスタマイズ機能 ..... 77
識別情報表示機能 ..... 84

# ご使用になる前に

はじめに……P2
安全にご利用になるために ……P3
対応システムと機能……P5
対応車種一覧……P8
診断コネクタ取り付け位置……P9

# はじめに

**ご使用になる前に**

本取扱説明書では、レクサス車の診断方法に関してご説明させていただきます。

ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

株式会社インターサポート

# 安全にご利用になるために

**ご使用になる前に**

■ 本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に、必ず本取扱説明書ならびに添付のその他の取扱説明書を必ずお読みください。

■ 本取扱説明書および添付のその他の取扱説明書では、人に対する危害や財産への損傷を未然に防止するために、危険を伴う操作、お取扱について、次の記号で警告または、注意しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

**警告**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

**注意**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が負傷を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

以下に述べられている警告や他の案内を無視した事が原因となる製品の損害や、被害などに関しては、当社は一切責任を負いません。

## 警告

- 走行状態でご使用になる場合には、必ず運転者、操作者の2人でご使用ください。操作に気を取られて事故につながる恐れがあります。
- アクティブテスト、作業サポートはレクサスのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。使用方法を間違えると、車両に悪影響をおよぼし事故発生の原因となる恐れがあります。
- アクティブテスト、作業サポートは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）および、車両停止状態（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）で実行してください。

## 注意

- レクサス車または、レクサス製造のOEM車以外に使用しないでください。

# 対応システムと診断機能

**ご使用になる前に**

対応システムと、診断機能の関係は以下の通りです。

| 大分類 | 小分類 | 自己診断 | データ表示 | アクティブテスト | 作業サポート | 識別情報表示 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| パワートレイン | TCCS | ● | ● | ● | ● | ● |
| | TCCS2 | ● | – | – | – | – |
| | ECT・SMT・MMT | ● | ● | ● | ● | ● |
| | HV | ● | ● | ● | ● | – |
| | マイルドハイブリッド | ● | – | – | – | – |
| | 電池 | ● | ● | ● | ● | – |
| | ストップアンドゴー | ● | – | – | – | – |
| | モーター ジェネレーター | ● | – | – | – | – |
| | ミリ波レーダ | ● | – | – | – | – |
| | FCHV | ● | – | ● | – | ● |
| シャシー | ABS・VSC | ● | ● | ● | ● | – |
| | ABS・VSC・ARS | ● | ● | ● | ● | – |
| | エアサス・TEMS・AHC | ● | ● | ● | ● | – |
| | 電動PKB | ● | ● | ● | ● | – |
| | ARS | ● | – | ● | – | – |
| | 4WD | ● | ● | ● | ● | – |
| | 電動パワステ | ● | ● | – | ● | – |
| | VGRS | ● | ● | – | – | – |
| | IPA・バックガイドモニター | ● | ● | – | – | – |
| | スタビライザ | ● | – | – | – | – |
| | アクティブスタビライザ(フロント) | ● | – | – | – | – |
| | アクティブスタビライザ(リヤ) | ● | – | – | – | – |
| ボデー | SRSエアバッグ | ● | ● | – | – | – |
| | レーダークルーズ | ● | – | – | – | – |
| | イモビライザー | ● | ● | – | ● | – |
| | P制御 | ● | ● | – | – | – |
| | プリクラッシュ | ● | ● | ● | – | – |
| | プリクラッシュ2 | ● | – | – | – | – |
| | メーター | ● | ● | ● | – | – |
| | エアコン | ● | ● | ● | ● | – |
| | EMS | ● | – | – | – | – |

| 大分類 | 小分類 | 自己診断 | データ表示 | アクティブテスト | 作業サポート | 識別情報表示 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ボデー | レーンキーピングアシスト | ● | – | – | – | – |
| | E-ACM | ● | ● | ● | – | – |
| | KDSS | ● | ● | ● | – | – |
| | タイヤ空気圧 | ● | ● | – | ● | – |
| | ボデー | ● | ● | ● | ● | – |
| | ボデーサブ・D席J・B | ● | – | – | – | – |
| | P席J・B | ● | ● | ● | – | – |
| | リアJ・B | ● | ● | ● | – | – |
| | Frコントローラ | – | ● | ● | – | – |
| | ゲートウェイ | ● | ● | – | ● | – |
| | HVゲートウェイ | ● | ● | ● | ● | – |
| | ECBゲートウェイ | ● | ● | – | ● | – |
| | ECMゲートウェイ | ● | ● | – | ● | – |
| | パワマネゲートウェイ1 | ● | ● | – | ● | – |
| | パワマネゲートウェイ2 | ● | ● | – | ● | – |
| | アクセサリゲートウェイ | ● | ● | – | – | – |
| | WILバスゲートウェイ | ● | – | – | – | – |
| | ヘルプネットゲートウェイ | ● | – | – | – | – |
| | マスターSW | ● | ● | ● | – | – |
| | コンビSW | ● | ● | – | – | – |
| | リアコンソールSW | ● | ● | ● | – | – |
| | チルドアンドテレスコ | ● | ● | ● | – | – |
| | D席ドア(ミラー) | ● | ● | ● | – | – |
| | P席ドア | ● | ● | ● | – | – |
| | RRドア | ● | ● | ● | – | – |
| | RLドア | ● | ● | ● | – | – |
| | バックドア | ● | ● | ● | – | – |
| | D席モータ | ● | ● | ● | – | – |
| | P席モータ | ● | ● | ● | – | – |
| | RR席モータ | ● | ● | ● | – | – |
| | RL席モータ | ● | ● | ● | – | – |
| | D席シート | ● | ● | ● | – | – |
| | P席シート | ● | ● | ● | – | – |
| | RR席シート | ● | ● | ● | – | – |
| | RL席シート | ● | ● | ● | – | – |
| | D席シートSW | ● | ● | ● | – | – |
| | RR席シートSW | ● | – | – | – | – |
| | FRシートエアコン | ● | ● | ● | – | – |
| | FLシートエアコン | ● | ● | ● | – | – |
| | RRシートエアコン | ● | ● | ● | – | – |

| 大分類 | 小分類 | 自己診断 | データ表示 | アクティブテスト | 作業サポート | 識別情報表示 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ボデー | RLシートエアコン | ● | ● | ● | – | – |
| | スライドルーフ | ● | ● | ● | – | – |
| | レインセンサ | ● | ● | – | – | – |
| | ワイパ | – | ● | ● | – | – |
| | 乗員検出 | ● | ● | – | – | – |
| | ナイトビュー | ● | – | – | – | – |
| | ステアリングPAD | ● | ● | – | – | – |
| | 電源 | ● | ● | ● | – | – |
| | セキュリティ | ● | ● | ● | ● | – |
| | クリアランスソナー | ● | ● | ● | – | – |
| | メタルトップ | ● | ● | ● | – | – |
| | L席ミラー | – | ● | ● | – | – |
| | R席ミラー | – | ● | ● | – | – |
| | AFS | ● | ● | ● | – | – |
| | リモートセキュリティ | ● | – | – | – | – |
| | D席アクティブヘッドレスト | ● | – | – | – | – |
| | P席アクティブヘッドレスト | ● | – | – | – | – |
| | ナビゲーションシステム | ● | – | – | – | – |
| | 充電制御 | ● | – | – | – | – |
| | 始動制御 | ● | – | – | – | – |
| カスタマイズ | ワイヤレスドアロック | – | – | – | ● | – |
| | ドアロック | – | – | – | ● | – |
| | セキュリティ | – | – | – | ● | – |
| | パワーウインドウ | – | – | – | ● | – |
| | ワイパ | – | – | – | ● | – |

※ 車両によって対応する機能が異なります。
※ 一部のシステムで自己診断では、フリーズフレームデータを表示します。
※ HVについてはフリーズフレームデータと詳細コードを表示します。

# 対応車種一覧

## ご使用になる前に

| 車種名 | 車両型式 | エンジン型式 | 対応年式 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 西暦 | 和暦 |
| CT | ZWA10 | 2ZR-FXE | '11.01～ | H23.01～ |
| GS | GRL10 | 2GR-FSE | '12.01～ | H24.01～ |
| | GRL11 | 4GR-FSE | '12.01～ | H24.01～ |
| | GRL15 | 2GR-FSE | '12.01～ | H24.01～ |
| | GRS191 | 2GR-FSE | '05.07～'11.12 | H17.07～H23.12 |
| | GRS196 | 2GR-FSE | '05.07～'11.12 | H17.07～H23.12 |
| | URS190 | 1UR-FSE | '07.10～'11.12 | H19.10～H23.12 |
| | UZS190 | 3UZ-FE | '05.07～'07.09 | H17.07～H19.09 |
| GS ハイブリッド | GWL10 | 2GR-FXE | '12.03～ | H24.03～ |
| | GWS191 | 2GR-FSE | '06.03～'12.02 | H18.03～H24.02 |
| HS | ANF10 | 2AZ-FXE | '09.07～ | H21.07～ |
| IS | GSE20 | 4GR-FSE | '05.09～ | H17.09～ |
| | GSE21 | 2GR-FSE | '05.09～ | H17.09～ |
| | GSE25 | 4GR-FSE | '05.09～ | H17.09～ |
| IS F | USE20 | 2UR-GSE | '07.10～ | H19.10～ |
| IS コンバーチブル | GSE20 | 4GR-FSE | '09.05～ | H21.05～ |
| | GSE21 | 2GR-FSE | '10.08～ | H22.08～ |
| LFA | LFA10 | 1LR-GUE | '10.12～ | H22.12～ |
| LS | USF40 | 1UR-FSE | '06.09～ | H18.09～ |
| | USF41 | 1UR-FSE | '08.08～ | H20.08～ |
| | USF45 | 1UR-FSE | '08.08～ | H20.08～ |
| | USF46 | 1UR-FSE | '08.08～ | H20.08～ |
| LS ハイブリッド | UVF45 | 2UR-FSE | '07.05～ | H19.05～ |
| | UVF46 | 2UR-FSE | '07.05～ | H19.05～ |
| RX | AGL10W | 1AR-FE | '09.01～ | H21.01～ |
| | GGL10W | 2GR-FE | '09.01～ | H21.01～ |
| | GGL15W | 2GR-FE | '09.01～ | H21.01～ |
| | GGL16W | 2GR-FE | '09.01～'12.03 | H21.01～H24.03 |
| RX ハイブリッド | GYL10W | 2GR-FXE | '09.04～ | H21.04～ |
| | GYL15W | 2GR-FXE | '09.04～ | H21.04～ |
| | GYL16W | 2GR-FXE | '09.04～ | H21.04～ |
| SC | UZZ40 | 3UZ-FE | '05.07～'10.07 | H17.07～H22.07 |

**※注意と補足※**

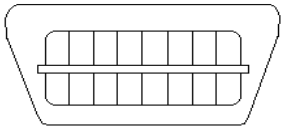
- レクサスの対応車種はTCCSの対応により設定されています。
- TCCSが対応していても他のシステムが対応していない場合があります。
- 対応表の年式はあくまで目安であり、対応年式内の車両でも対応していない場合があります。

# 診断コネクタ取り付け位置



## DLC3コネクタ

DLC3コネクタは運転席ダッシュボード下の左右又は、運転席インストルメントパネル右下のカバー内になります。



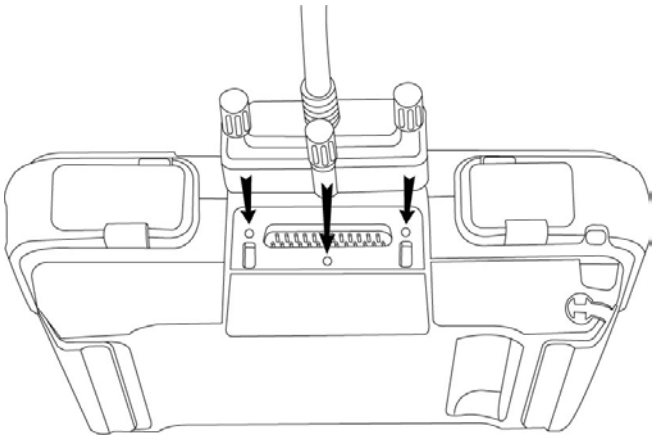
# 診断の準備

車両と接続します……P11
電源のON/OFF……P13
車種、システムを選択します……P15

# 車両と接続します

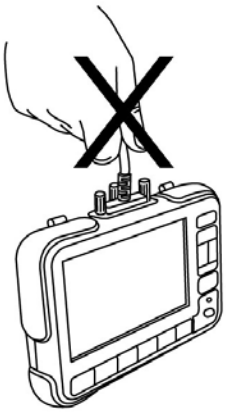
**診断の準備**

1）G-scanのDLCコネクタ部にDLCメインケーブルを接続し、3箇所のネジをしっかりと締め付けてください。



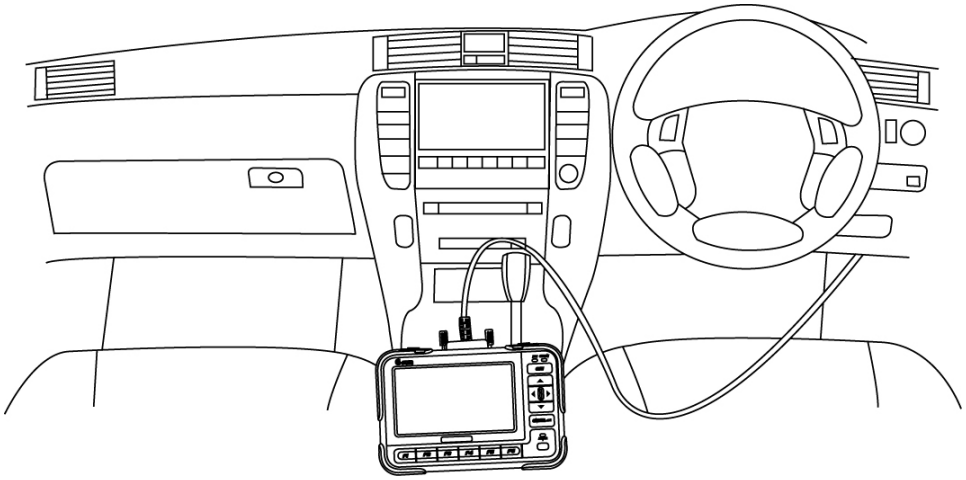
〈図：DLCメインケーブルの接続〉

## 警告



DLCメインケーブルがG-scanに接続された状態で、DLCメインケーブルのみを持たないでください。

2) G-scan本体に接続したDLCメインケーブルのもう一端を車両の診断コネクタに接続します。

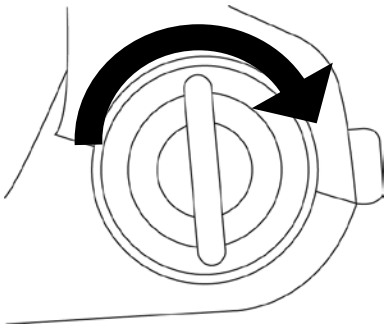


〈図:車両との接続〉

# 電源のON/OFF

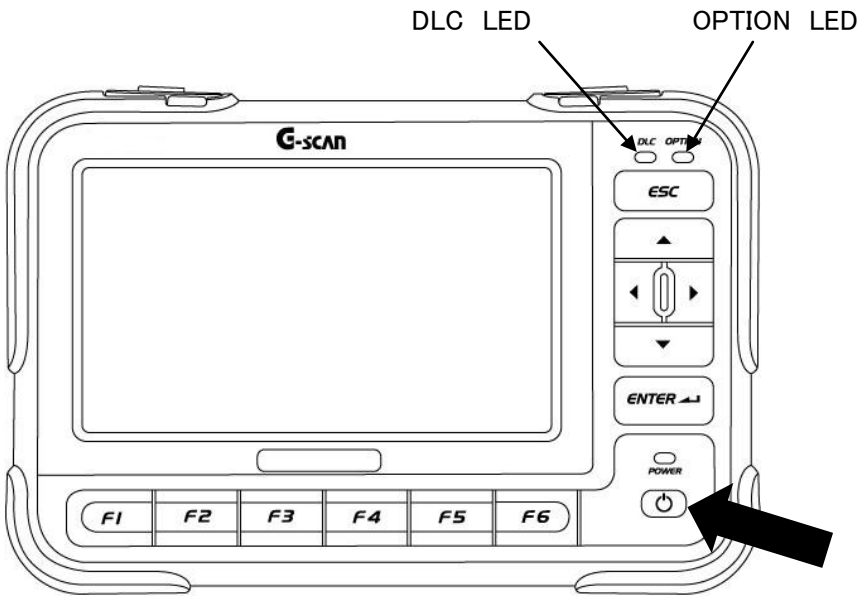
**診断の準備**

1）車両のIG SWをON、またはエンジンを始動します。



〈図：IG SW ONまたはエンジン始動〉

2）G-scan本体の電源ON/OFFボタンを約0.5秒長押ししてください。DLC LED、OPTION LEDがオレンジ色から緑色へと変わり、G-scanの電源がONします。

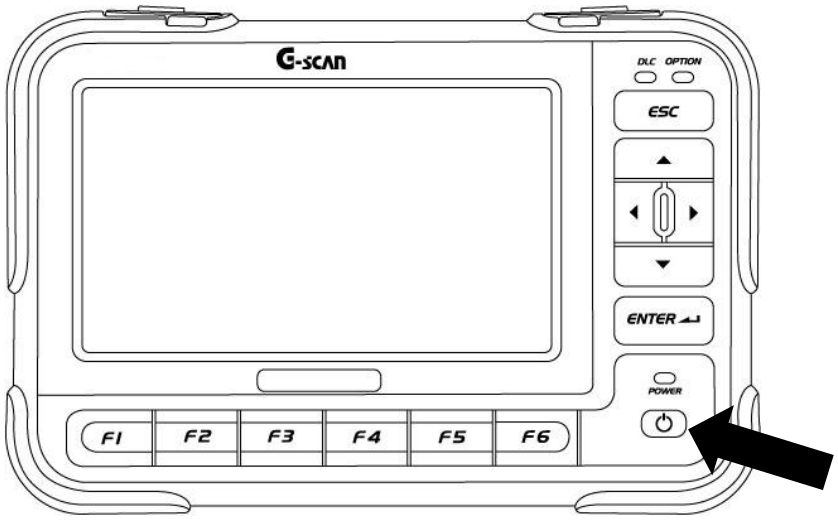



〈図：電源ON〉

3）G-scanが通常通り起動すると以下の画面が表示されます。

〈図：G-scanメイン画面〉

4）電源をOFFする場合は、上記のG-scanメイン画面を表示した状態で、電源ON/OFFボタンを約2.5秒長押ししてください。G-scanの電源がOFFします。




〈図：電源OFF〉

# 車種、システムを選択します

## 診断の準備

G-scanメイン画面において『車両診断』を選択して、 ENTER ボタンを押してください。

〈図：車両診断を選択〉

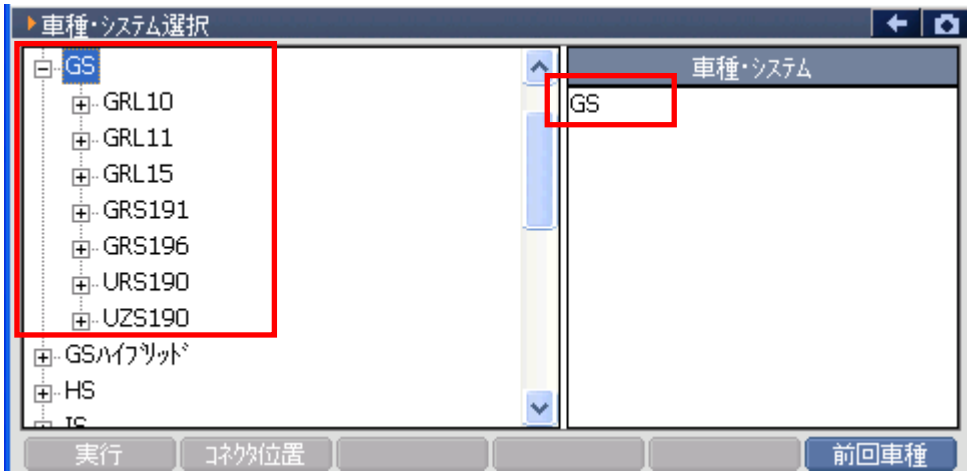
1）メーカ選択画面が表示されます。レクサスを選択して、 決定 ボタンをタッチ、又は F1 ボタンを押してください。

〈図：メーカ選択画面〉

2）車種・システム選択画面が表示されます。

〈図：車種・システム選択画面〉

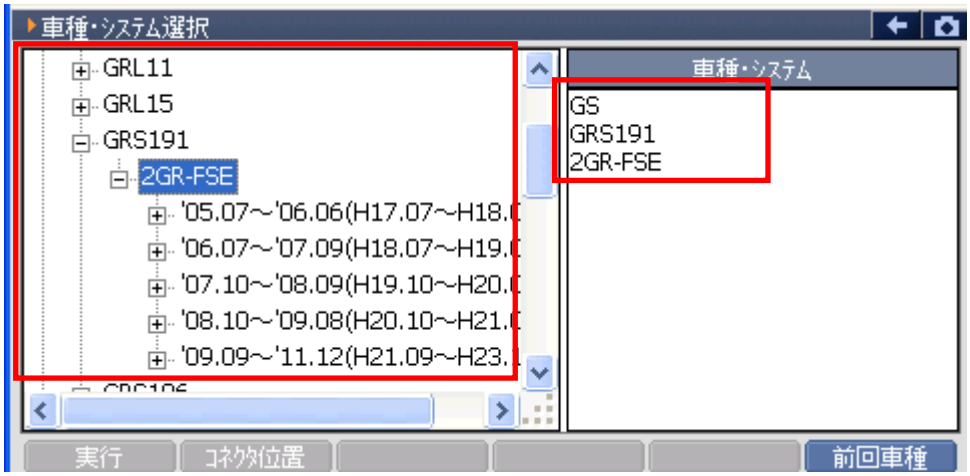
3）診断する車種名を選択して ENTER ボタンを押してください。車種名の下に型式が表示されます。



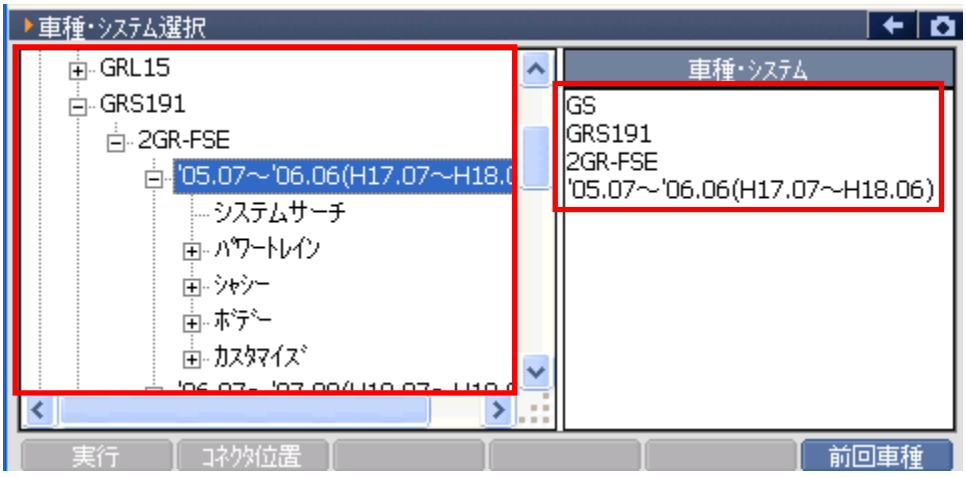

〈図：車種名の選択〉

4）同様に、診断する車両の型式、エンジン型式、年式を選択してください。

〈図：型式の選択〉

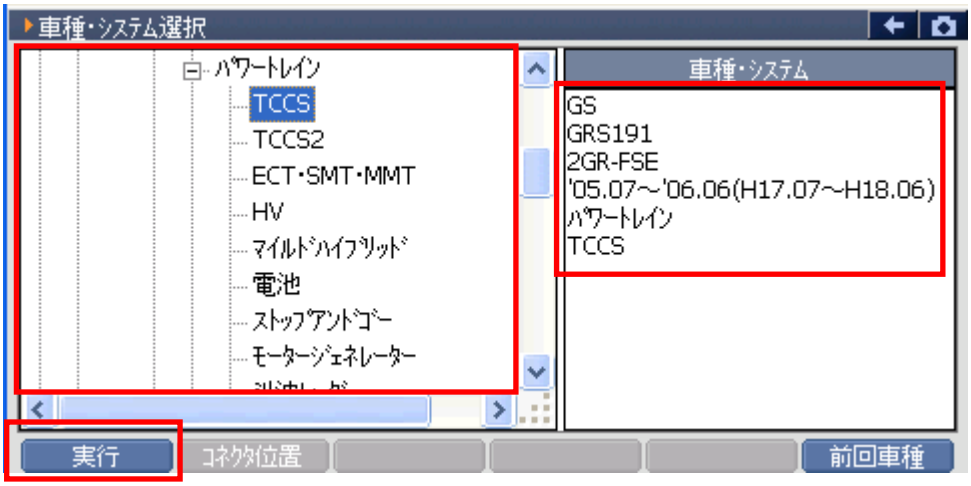



〈図：エンジン型式の選択〉




〈図：年式の選択〉

5）最後にシステムを選択します。診断するシステムを選択して 実行 ボタンをタッチ、又は F1 ボタンを押してください。




〈図：システムの選択〉

**※注意と補足※**

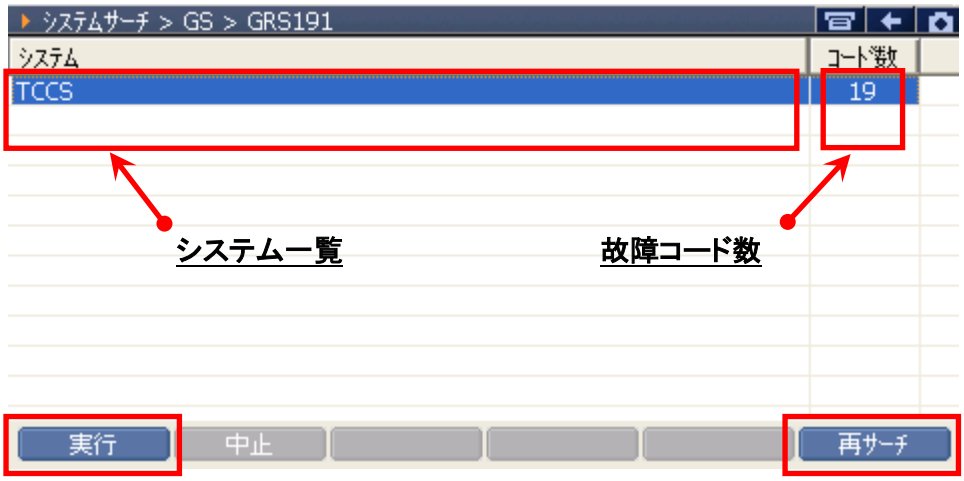
- 車種、システムの選択は正確に行ってください。正確に車種・システム選択が行われないと故障コード違いや、データ違い、通信異常の原因になります。
- 車種・システム選択画面で 前回車種 ボタンをタッチ、又は F6 ボタンを押すと、前回選択した車種、システムが自動で選択されます。

・ システムサーチとは通信可能なシステムを検索する機能です。

システムサーチを実行すると、画面に通信可能なシステム一覧と各システムで検出された故障コードの数を表示します。

システム一覧から、システムを選択後 実行 ボタンをタッチ、又は F1 ボタンを押すと選択したシステムと通信が開始され、6)の診断メニューが表示されます。

再サーチ ボタンをタッチ、又は F6 ボタンを押すと再度システムサーチを行います。




〈図:システムサーチ画面〉

6）車種・システムの選択が正しく行われると診断メニューが表示されます。

〈図：診断メニュー画面〉

**※注意と補足※**

・ 上記の診断メニューはTCCSを選択した例です。診断メニューに表示される診断機能は車種、システムによって異なります。

対応システムと機能の関係に関してはP5をご参照ください。

# 診断機能

自己診断機能……P22
データ表示機能……P29
保存データ表示機能……P47
アクティブテスト機能……P58
作業サポート機能……P62
カスタマイズ機能……P77
識別情報表示機能……P84

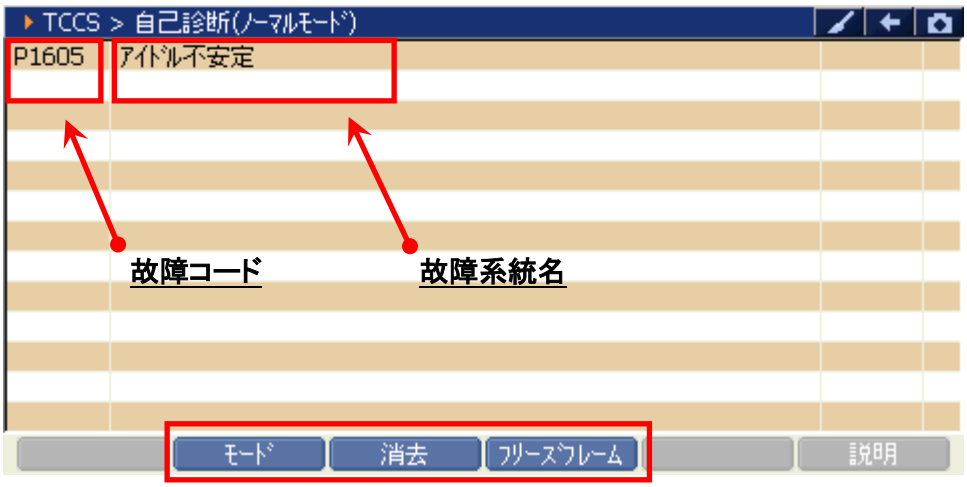
# 自己診断機能

診断機能

1）診断メニューにおいて『自己診断』を選択して ENTER ボタンを押してください。

〈図：診断メニューにて自己診断を選択〉

2）自己診断画面が表示され、記憶された故障コードが表示されます。




〈図：自己診断画面〉

**故障コード** ： SAEコード（例：P0135）が表示されます。

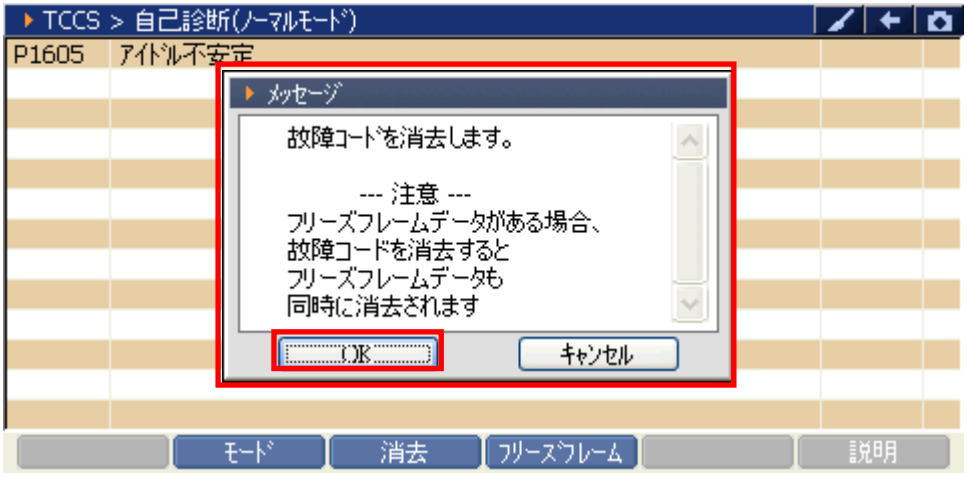
**故障系統名** ： 故障系統名が表示されます。
故障内容の詳細に関しては、レクサスのサービスマニュアルをご参照ください。

モード　ノーマルモードとチェックモード（テストモード）の切替をします。【詳細はP24を参照】

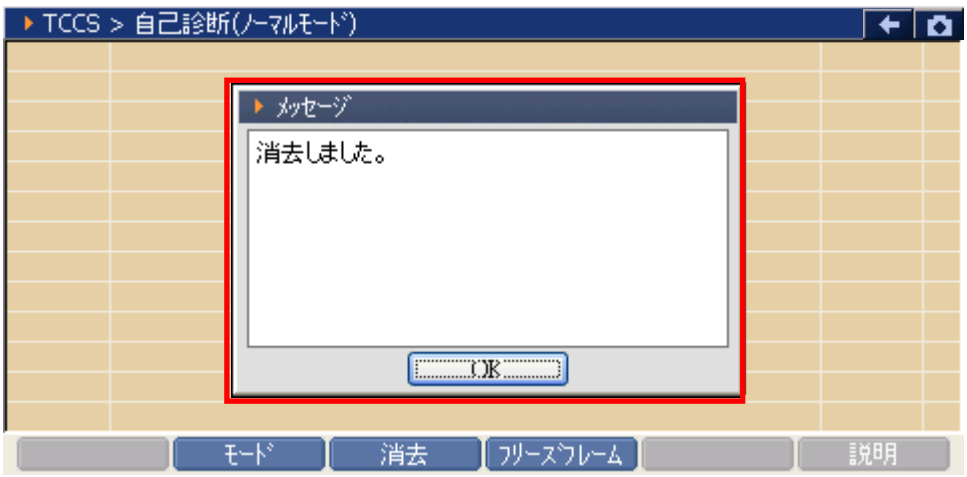
消去　自己診断記憶を消去します。【詳細は3）を参照】

フリーズフレーム　フリーズフレームデータを表示します。【詳細はP26を参照】

3） 消去 ボタンをタッチ、又は F3 ボタンを押すと故障コードを消去します。以下の画面が表示されますので、 OK ボタンをタッチして故障コードを消去してください。




〈図：故障コードの消去〉

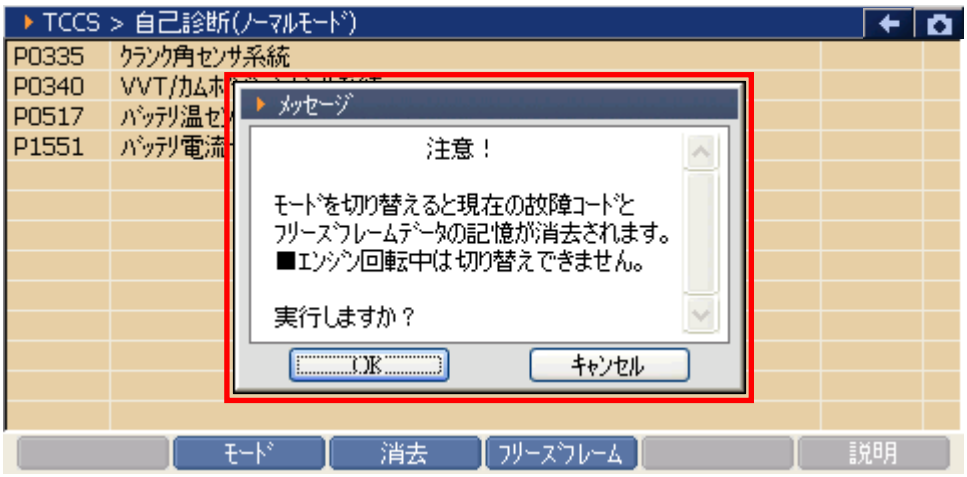



〈図：故障コードの消去完了〉

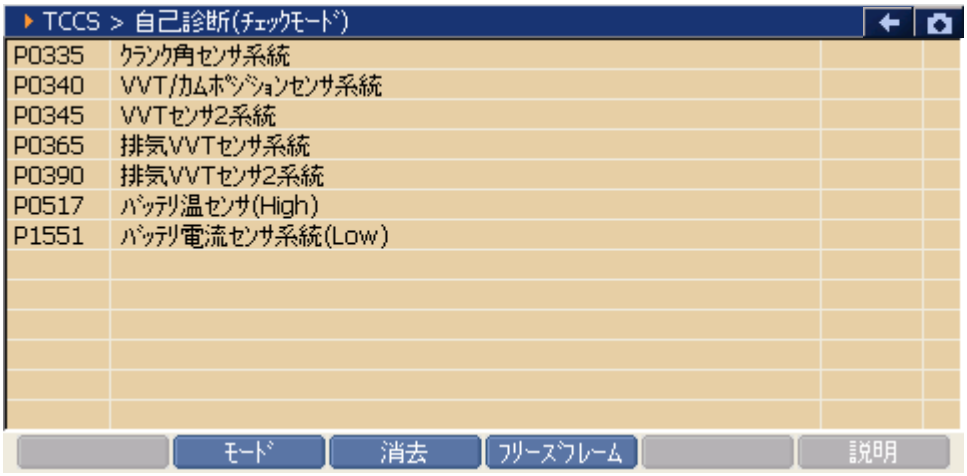
## ■ モード ボタンの詳細

① モード ボタンをタッチ、又は F2 ボタンを押すとノーマルモードとチェックモード（テストモード）の切替えが行えます。

以下の画面が表示されますので、よろしければ OK ボタンをタッチしてください。モードが切替わります。




〈図：モード切替〉




〈図：チェックモード（テストモード）での表示〉

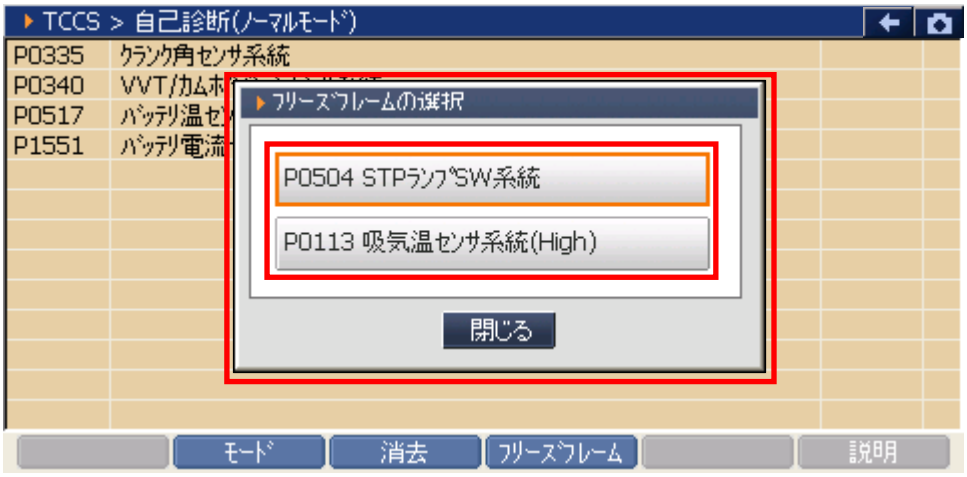
**※注意と補足※**

- チェックモードとは、通常のノーマルモードに比べて異常検出感度を向上させた機能です。各センサの異常が考えられるにも関わらず、ノーマルモードで検出できない場合に使用します。
- テストモードとは定められた手順に従って車両を操作し、各センサのチェックを行う機能です。テストモードを実行すると、異常ではなくてもテストモードコードを出力することがあります。詳細に関してはレクサスのサービスマニュアルをご参照ください。

## ■ フリーズフレーム ボタンの詳細

### 1）HV(ハイブリッド)システム以外の場合

① フリーズフレーム ボタンをタッチ、又は F4 ボタンを押すと以下の画面が表示されます。フリーズフレームデータを表示する故障コードを選択してください。




〈図：表示するフリーズフレームデータの選択〉

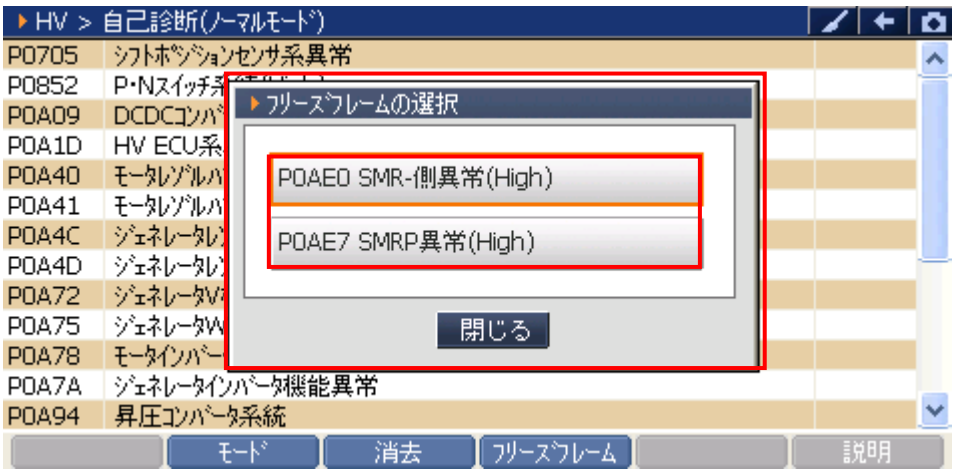
② 故障コードを選択すると、フリーズフレームデータが表示されます。

戻る ボタンをタッチ、又は F1 ボタンを押すと自己診断画面に戻ります。

〈図：フリーズフレームデータの表示〉

## 2）HV(ハイブリッド)システムの場合

① フリーズフレーム ボタンをタッチ、又は F4 ボタンを押すと以下の画面が表示されます。フリーズフレームデータを表示する故障コードを選択してください。



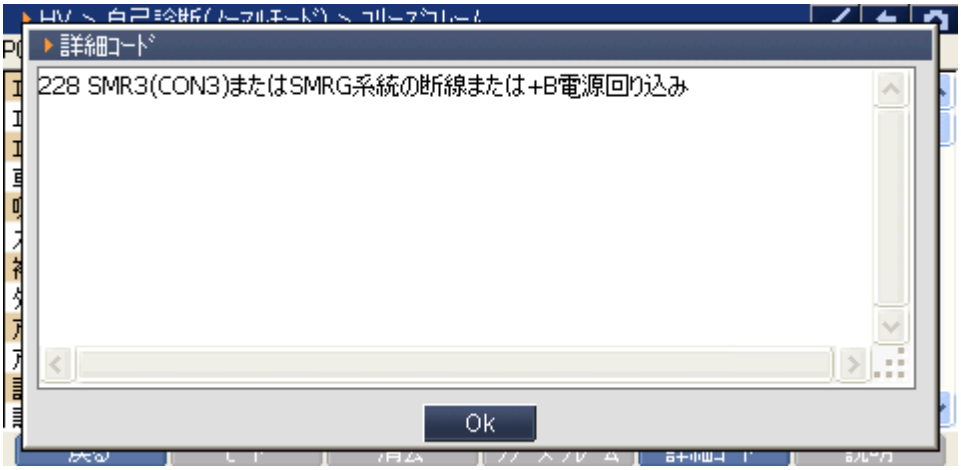

〈図：表示するフリーズフレームデータの選択〉

② 故障コードを選択すると、フリーズフレームデータが表示されます。

戻る ボタンをタッチ、又は F1 ボタンを押すと自己診断画面に戻ります。

〈図：フリーズフレームデータの表示〉

③ 詳細ｺｰﾄﾞ ボタンをタッチ、又は F5 ボタンを押すと詳細コードが表示されます。




〈図：詳細コードの表示〉

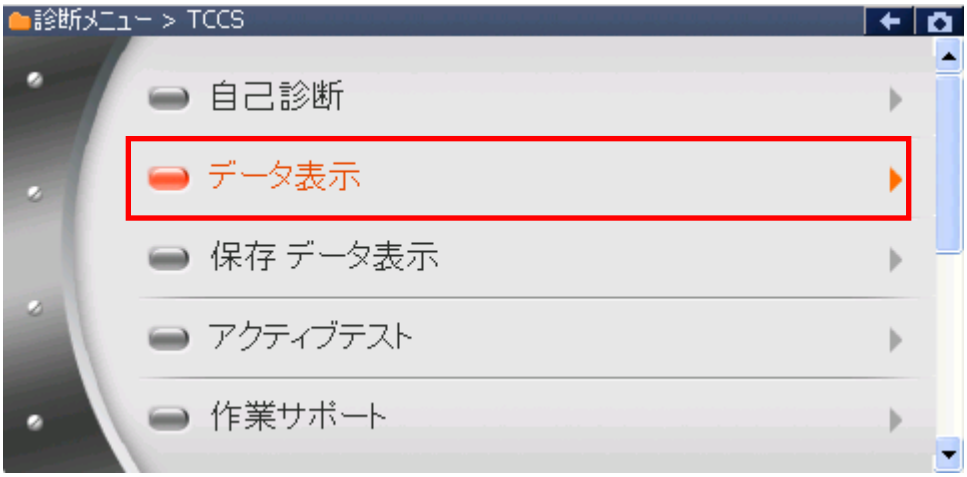
**※注意と補足※**

- フリーズフレームデータとは故障コード発生・検出時のデータがECU（コンピュータ）によって記録されたものです。記憶されるデータの種類は車載ECUによって決められていて、故障コードに関連したデータ（エンジン回転数、車速、燃料補正値、冷却水温等）が記憶されます。
- フリーズフレームデータは故障コード消去後、最初の故障コード発生と同時に1回だけ記憶されます。
- 詳細コードとは故障コードを細分化したコードを示します。
- 詳細コードはフリーズフレームデータがなければ詳細コードは確認できません。
- フリーズフレームデータ、詳細コードは故障コードを消去する時に同時に消去されます。

# データ表示機能

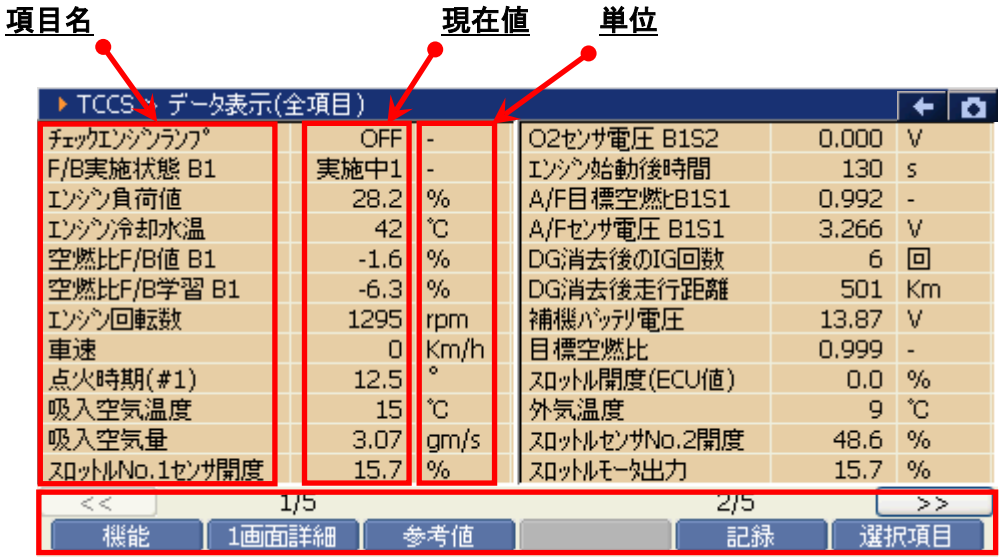


1）診断メニューにおいて『データ表示』を選択して ENTER ボタンを押してください。




〈図：診断メニューにてデータ表示を選択〉

2）データ表示画面が表示され、リアルタイムなデータが数値で表示されます。

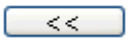



〈図：データ表示画面〉

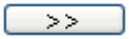
**項目名** ： 項目名が表示されます。

**現在値** ： 現在値が表示されます。

**単位** ： 単位が表示されます。



前のページを表示します。



次のページを表示します。

TC端子の短絡や、最大最小値のリセットを行います。【詳細はP33を参照】

1画面表示に切替えます。【詳細はP31　3)を参照】

参考値を表示します。【詳細はP34を参照】

データを記録します。【詳細はP38を参照】

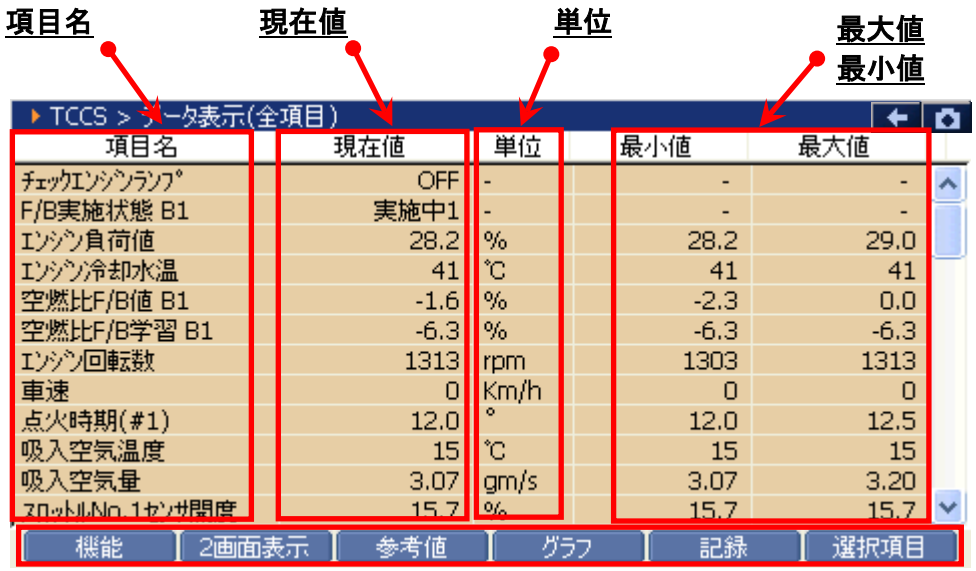
表示する項目を選択します。【詳細はP44を参照】

**※注意と補足※**

・ 表示される項目名は車種、システムによって異なります。

表示項目の詳細に関してはレクサスのサービスマニュアルをご参照ください。

3） 1画面詳細 ボタンをタッチ、又は F2 ボタンを押すと2画面で表示されていたデータを1画面に表示することができます。




〈図：データ表示画面　1画面表示〉

**項目名** ： 項目名が表示されます。

**現在値** ： 現在値が表示されます。

**単位** ： 単位が表示されます。

**最大値/最小値** ： 最大値と最小値が表示されます。

機能 TC端子の短絡や、最大最小値のリセットを行います。【詳細はP33を参照】

2画面表示 2画面表示に切替えます。

参考値 参考値を表示します。【詳細はP34を参照】

グラフ 数値で表示されているデータをグラフで表示します【詳細はP35を参照】

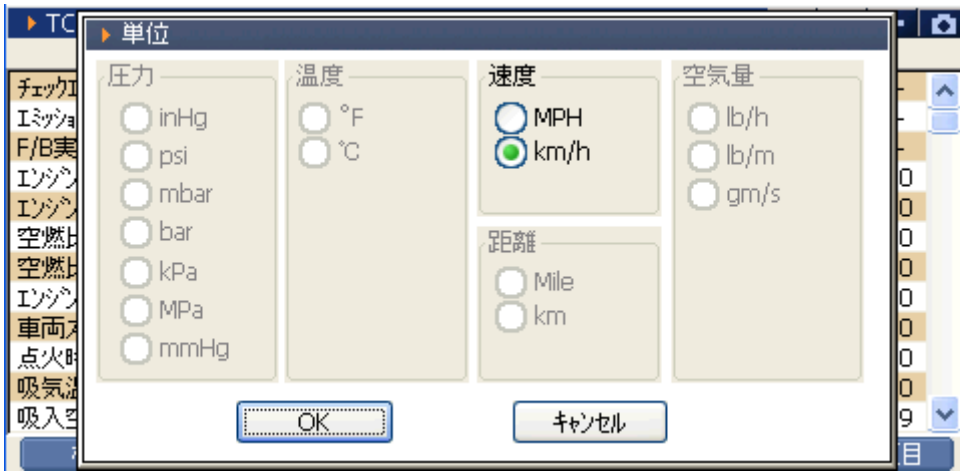
記録 データを記録します。【詳細はP38を参照】

選択項目 表示する項目を選択します。【詳細はP44を参照】

**※注意と補足※**

・ 『圧力』、『速度』、『温度』、『空気量』、『距離』に含まれる項目の場合、単位の部分をタッチすると以下の画面が表示され、単位を変更することができます。

〈図：単位をタッチ〉

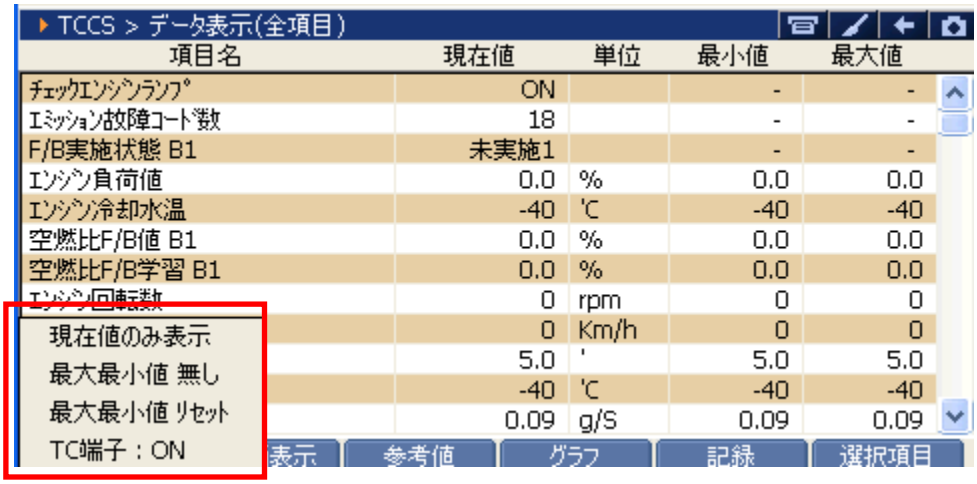



〈図：単位変更画面〉

## ■ 機能 ボタンの詳細

① 機能 ボタンをタッチ、又は F1 ボタンを押すと以下の画面が表示されます。

〈図:2画面表示状態で機能ボタンをタッチ〉




〈図:1画面表示状態で機能ボタンをタッチ〉

**現在値のみ表示** ： 単位、最大値、最小値の列を非表示にします。

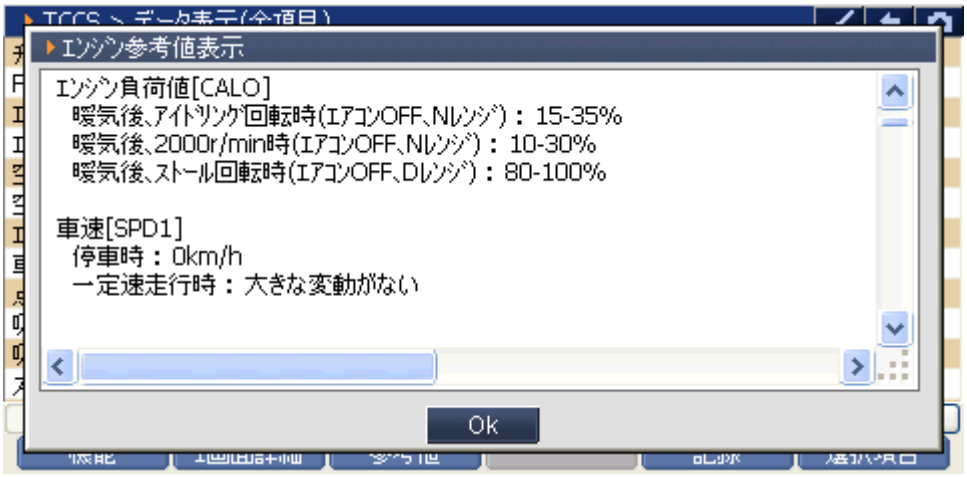
**最大最小値無し** ： 最大値、最小値の列を非表示にします。
『最大最小値無し』は1画面表示状態のみ表示されます。

**最大最小値リセット** ： 最大値、最小値をリセットします。

**TC端子ON** ： 『TC端子ON』のアクティブ制御を実行します。
TC端子ONはTCCSのみの機能です。TCCS以外のシステムでは表示されません。

## ■ 参考値 ボタンの詳細

① 参考値 ボタンをタッチ、又は F3 ボタンを押すとTCCSのエンジン参考値が表示されます。



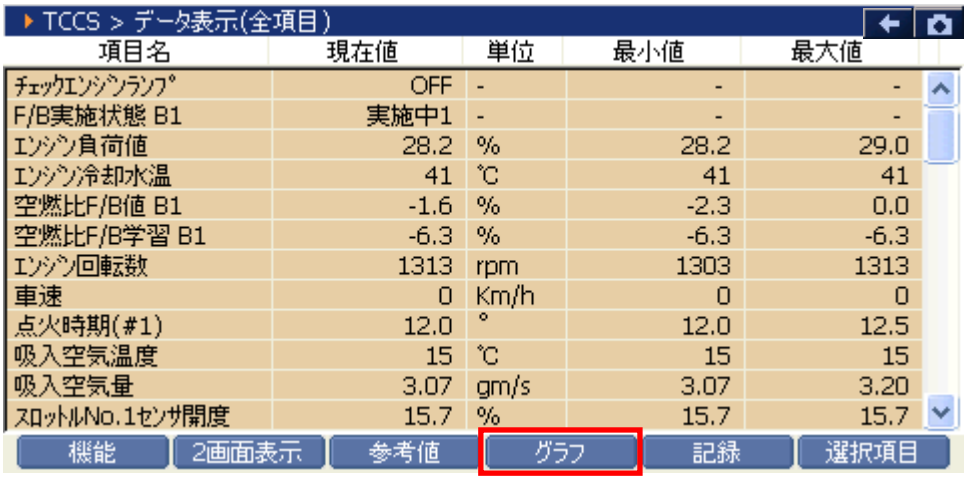

〈図:参考値表示画面〉

**※注意と補足※**

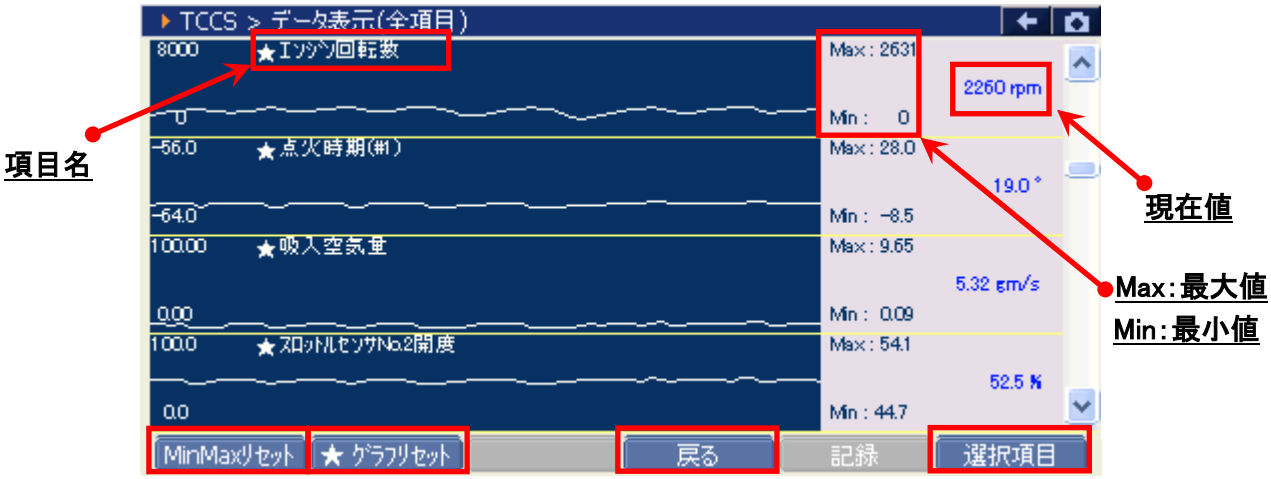
・ 参考値表示はTCCSのみの機能です。TCCS以外のシステムでは 参考値 ボタンは表示されません。

## ■ グラフ ボタンの詳細

① 1画面表示状態で画面下部の グラフ ボタンをタッチ、又は F4 ボタンを押すと数値で表示されていたデータがグラフで表示されます。




〈図:1画面表示状態〉




〈図:グラフ表示画面〉

**項目名** ： 項目名が表示されます。

**現在値** ： 現在値が表示されます。

**Max/Min** ： 最大値/最小値が表示されます。

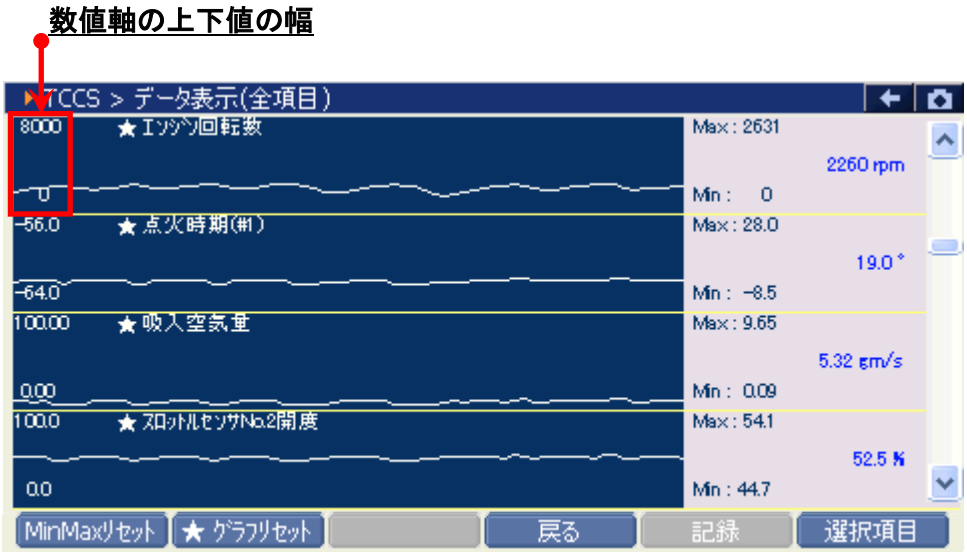
MinMaxリセット 最大値、最小値をリセットします。

★ グラフリセット グラフの数値軸の幅を最大値/最小値に合わせて補正します。【詳細はP36を参照】

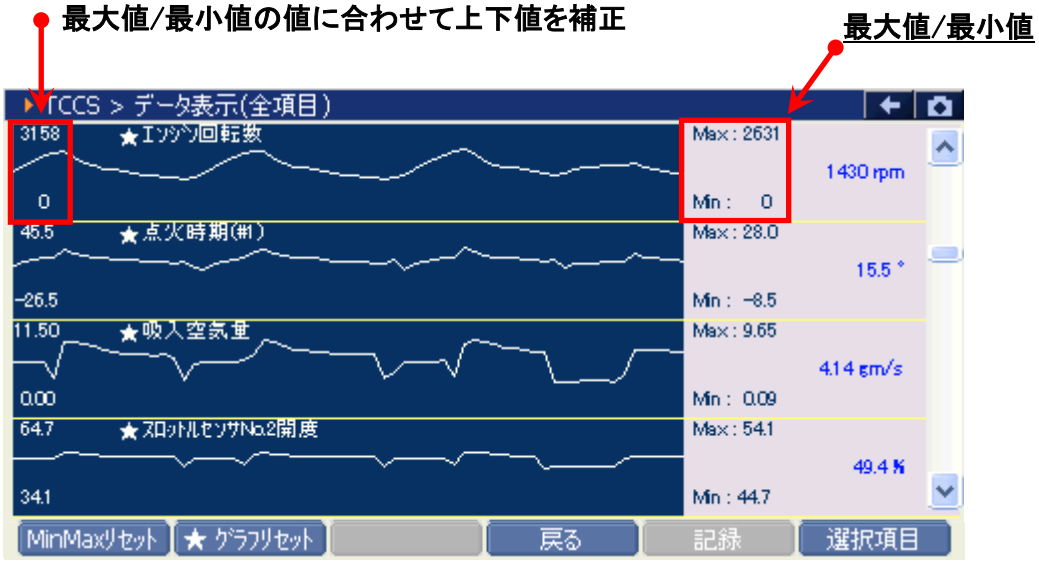
戻る 数値表示に戻ります。

選択項目 表示する項目を選択します。【詳細はP44を参照】

② グラフ表示画面で画面下部の ★ｸﾞﾗﾌﾘｾｯﾄ ボタンをタッチ、又は F2 ボタンを押すと、グラフの縦軸である数値軸の上下値の幅が、グラフリセットを実行した時点の最大値/最小値に合わせた上下値の幅に補正されます。




〈図：グラフリセット前〉




〈図：グラフリセット後〉

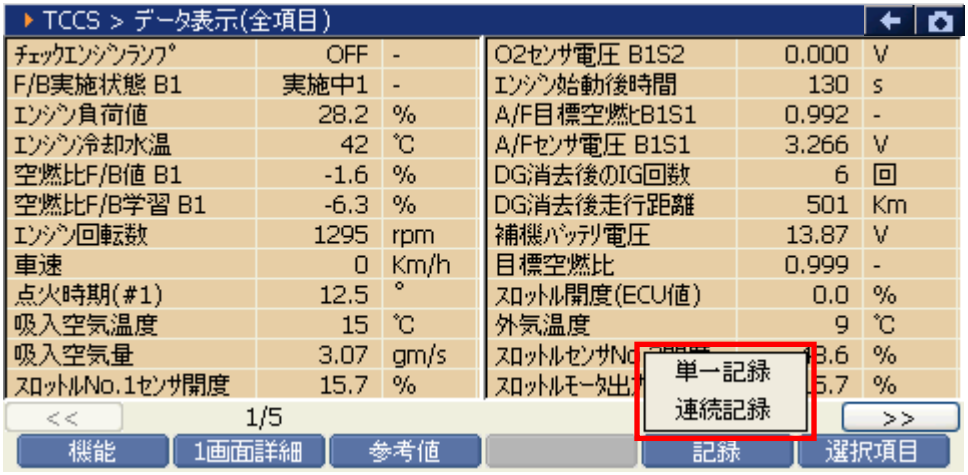
**※注意と補足※**

- グラフリセットは、画面に表示している項目にのみ実行されます。
- 項目名の左に☆印が付いている項目のみグラフリセットに対応しています。

  その他の項目は、グラフリセットを実行しても上下値の補正は行われません。

## ■ 記録 ボタンの詳細

① 記録 ボタンをタッチ、又は F5 ボタンを押すと以下の画面が表示されます。




〈図:2画面表示状態で記録ボタンをタッチ〉

TCCS > データ表示(全項目)
項目名 現在値 単位 最小値 最大値
チェックエンジンランプ ON - - -
F/B実施状態 B1 未実施1 - - -
エンジン負荷値 0.0 % 0.0 0.0
エンジン冷却水温 -40 ℃ -40 -40
空燃比F/B値 B1 0.0 % 0.0 0.0
空燃比F/B学習 B1 0.0 % 0.0 0.0
エンジン回転数 0 rpm 0 0
車速 0 Km/h 0 0
点火時期(#1) 5.0 ° 5.0 5.0
吸入空気温度 -40 ℃ -40
吸入空気量 0.20 gm/s 0.20
スロットルNo.1センサ開度 100.0 % 100.0
単一記録
連続記録
機能 2画面表示 参考値 グラフ 記録 選択項目

〈図:1画面表示状態で記録ボタンをタッチ〉

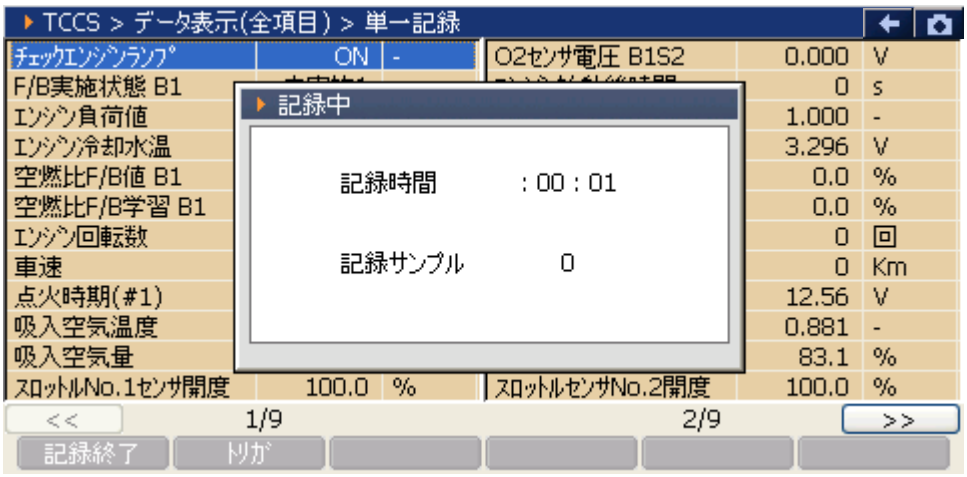
**単一記録** ： 1サンプル分のデータを記録します。【詳細はP39 ②を参照】

**連続記録** ： 連続したサンプルのデータを記録します。【詳細はP42 ⑥を参照】
最大記録時間は60分です。

※ 記録できるデータ項目数は最大200項目までです。
データ表示項目が200項目以上の場合、201番目以降の項目については記録できません。
201番目以降の項目を記録する場合は選択項目で記録する項目を選択してください。

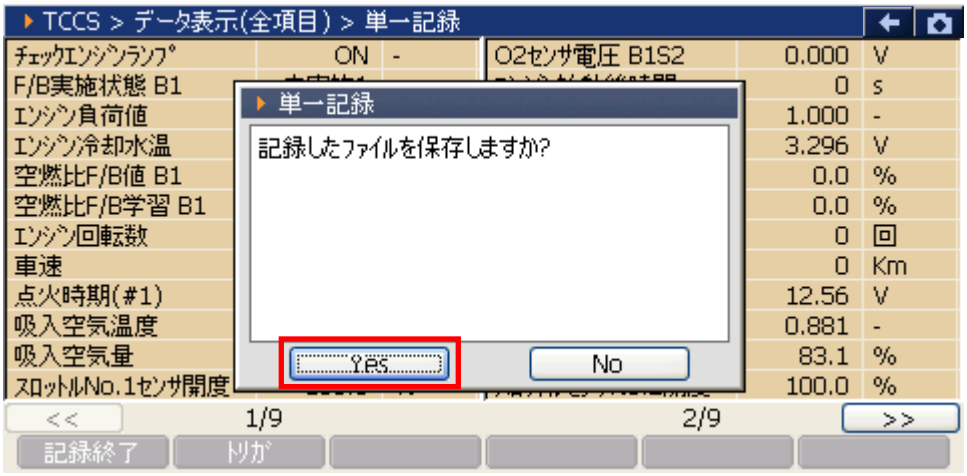
② 『単一記録』を選択すると、データの記録が開始されます。

『単一記録』では1サンプル分のデータを記録します。




〈図：単一記録で記録中〉

③ 記録が終了すると以下の画面が表示されます。 Yes を選択してファイルを保存してください。 No を選択した場合、記録したデータは失われ閲覧することはできません。



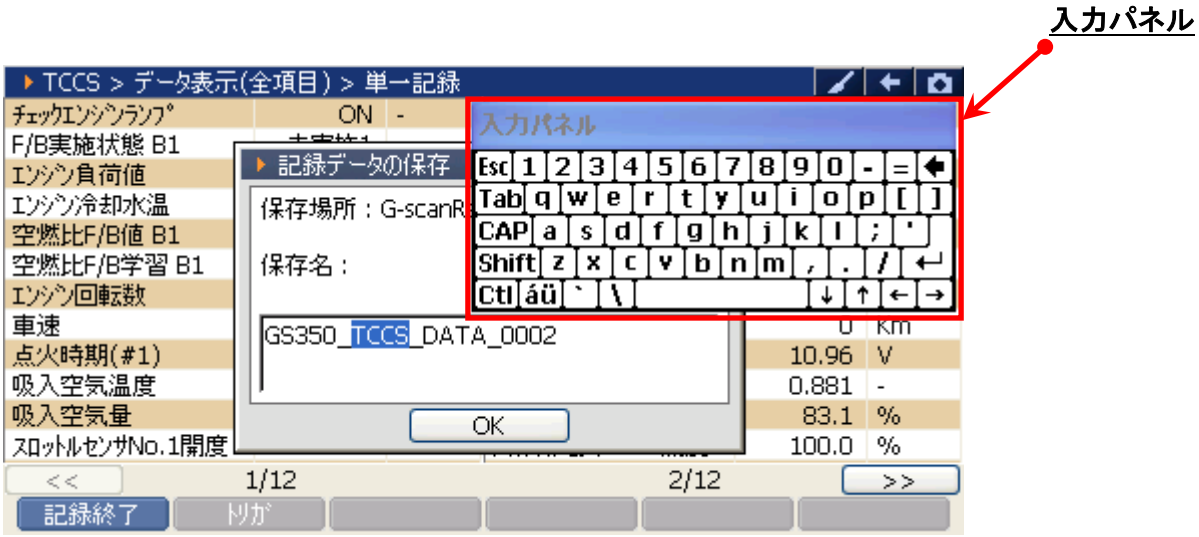

〈図：記録完了後ファイルの保存確認〉

④　保存ファイル名の確認画面が表示されます。

よろしければ、OK をタッチして記録データを保存してください。

ファイル名を変更する場合は、ファイル名が表示されている部分をタッチしてください。入力パネルが表示されます。入力パネルを操作してファイル名を変更してください。

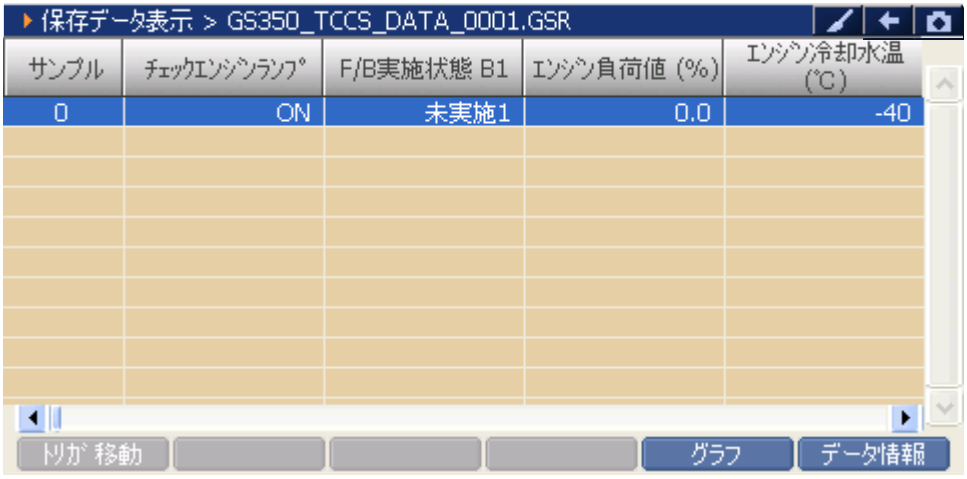
〈図：保存ファイル名の確認〉




〈図：保存ファイル名の変更〉

⑤ ファイルの保存が完了すると、記録したデータが表示されます。

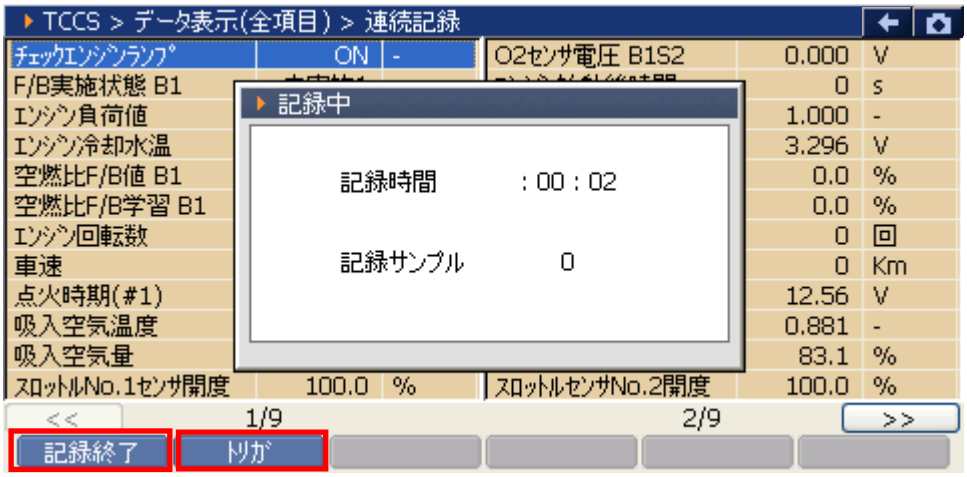
詳細に関してはP47をご参照ください。




〈図：保存データ表示画面〉

⑥ 『連続記録』を選択すると、データの記録が開始されます。

『連続記録』では、連続したサンプルのデータを記録します。

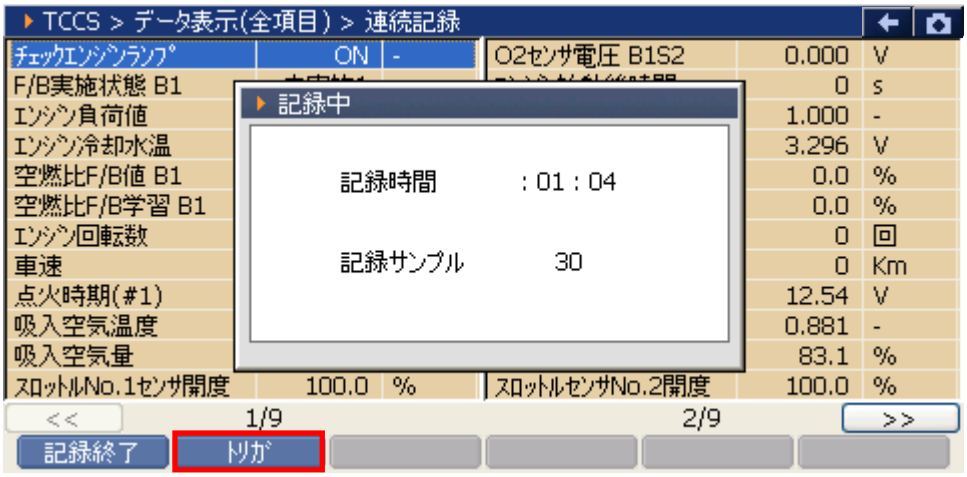



〈図:連続記録で記録中〉

トリガ　トリガ機能を使用します。【詳細は⑦を参照】

記録終了　記録を終了します。【詳細はP43 ⑧を参照】

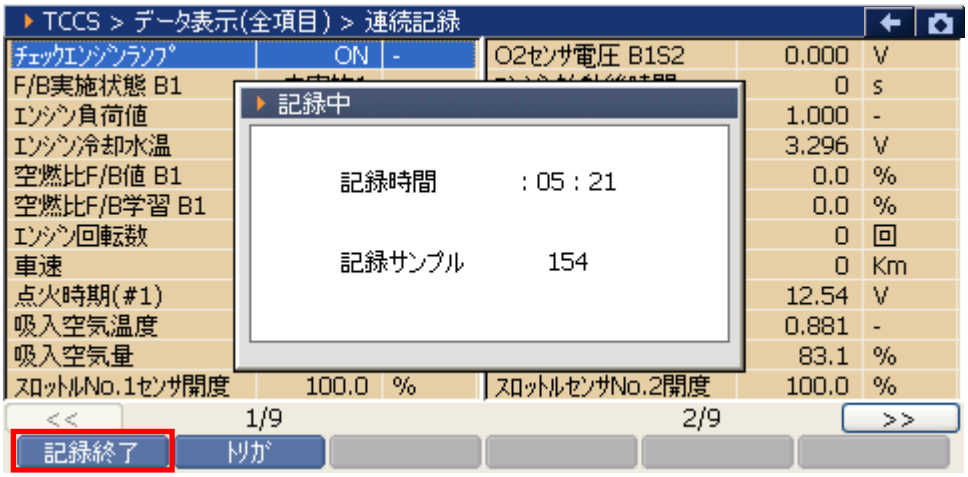
⑦ 記録中に トリガ ボタンをタッチ、又は F2 ボタンを押すとトリガ機能を使用することができます。トリガ機能を使用するとトリガ前(-1.-2.-3サンプル……)、トリガ後(1.2.3サンプル……)のデータを記録することができます。




〈図:トリガボタンを選択〉

⑧ 記録を終了する場合は、記録終了ボタンをタッチ又は F1 ボタンを押してください。尚、トリガ機能を使用しない場合、記録開始から記録終了まで（0サンプル～……）のデータを記録します。

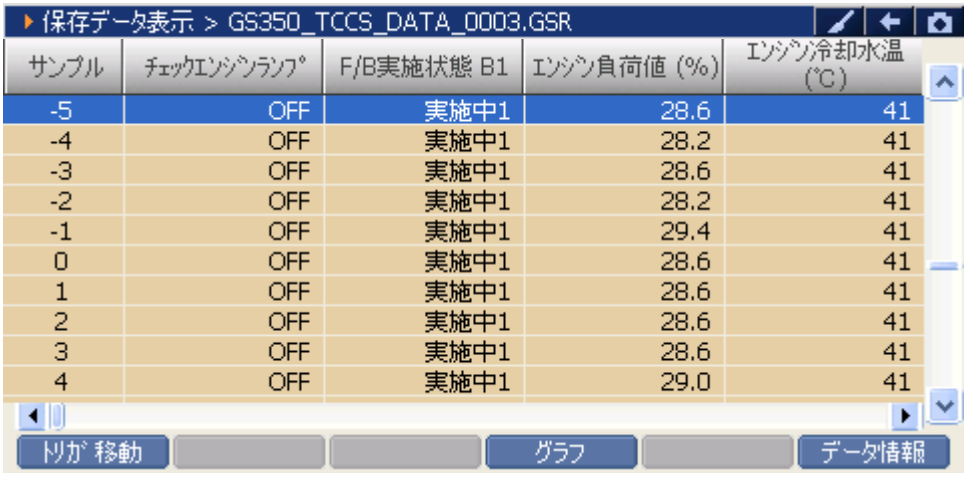
記録終了後、記録したファイルを保存してください。ファイルの保存に関してはP39 ③、P40 ④をご参照ください。




〈図：記録終了〉

⑨ ファイルの保存が完了すると記録したデータが表示されます。

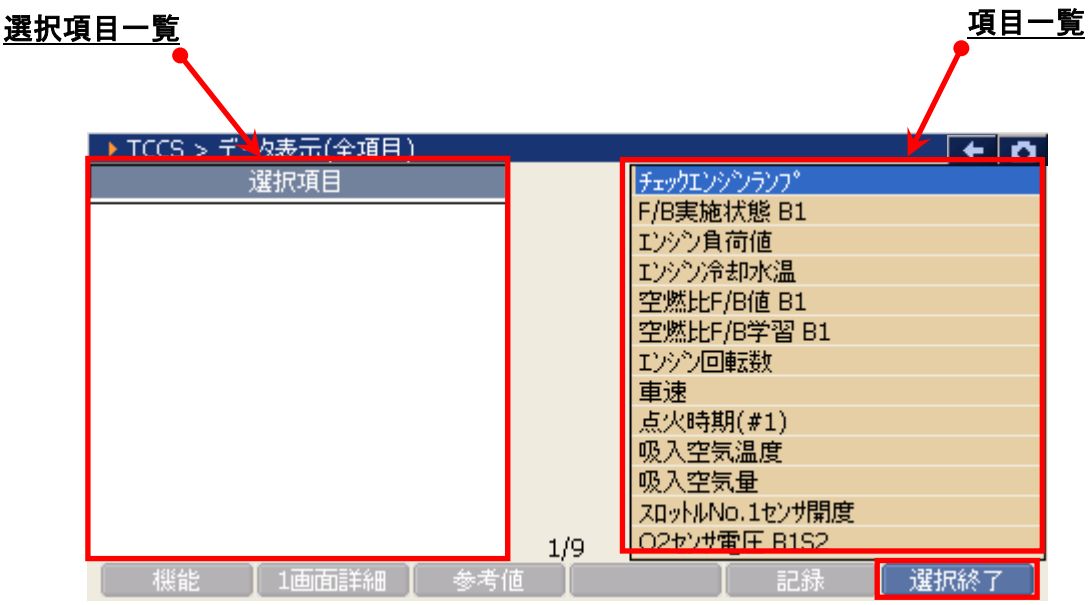
詳細に関してはP47をご参照ください。


保存データ表示 > GS350_TCCS_DATA_0003.GSR
サンプル | チェックエンジンランプ | F/B実施状態 B1 | エンジン負荷値 (%) | エンジン冷却水温 (℃)
-5 OFF 実施中1 28.6 41
-4 OFF 実施中1 28.2 41
-3 OFF 実施中1 28.6 41
-2 OFF 実施中1 28.2 41
-1 OFF 実施中1 29.4 41
0 OFF 実施中1 28.6 41
1 OFF 実施中1 28.6 41
2 OFF 実施中1 28.6 41
3 OFF 実施中1 28.6 41
4 OFF 実施中1 29.0 41
トリガ 移動
グラフ
データ情報

〈図：保存データ表示画面〉

## ■ 選択項目 ボタンの詳細

① 選択項目 ボタンをタッチ、又は F6 ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



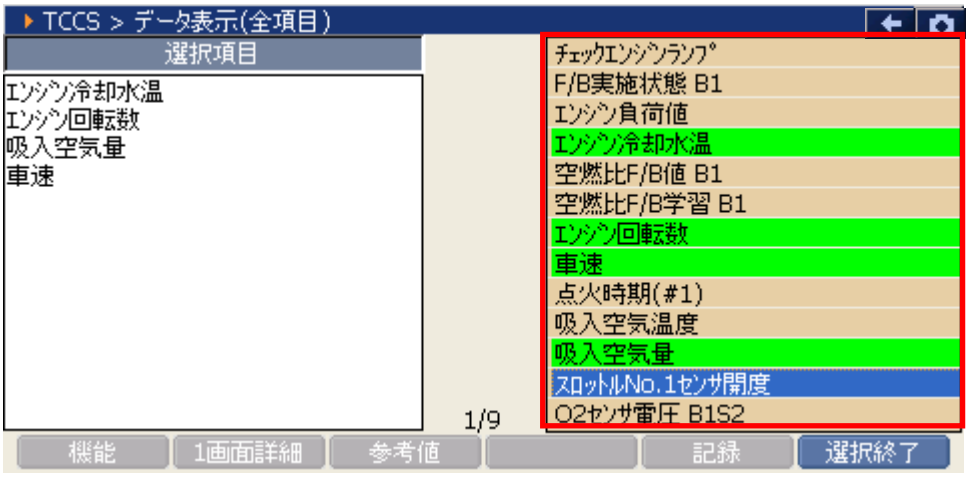

〈図:表示項目の選択〉

**選択項目一覧** ： 項目名が表示されます。

**項目一覧** ： 項目一覧が表示されます。

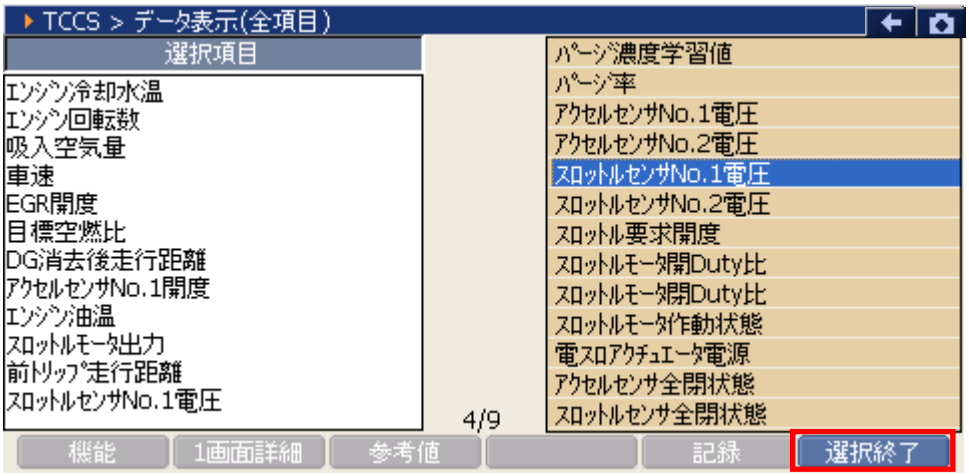
選択終了 選択を終了します。

② 項目一覧から、表示する項目を選択します。選択する項目にカーソルを合わせ ENTER ボタンを押して表示する項目を選択してください。◀ ▶ ボタンを押すと次のページを表示します。




〈図:表示項目の選択〉

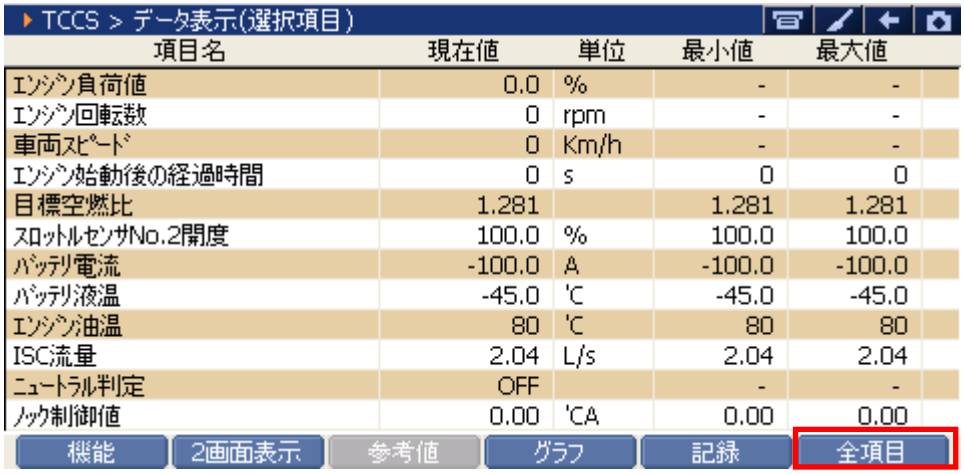
③ 項目の選択を終了する場合は、選択終了 ボタンをタッチ、又は F6 ボタンを押してください。




〈図:選択の終了〉

④ データ表示画面に選択した項目が表示されます。

全項目の表示に戻す場合は、 全項目 ボタンをタッチ、又は F2 ボタンを押してください。

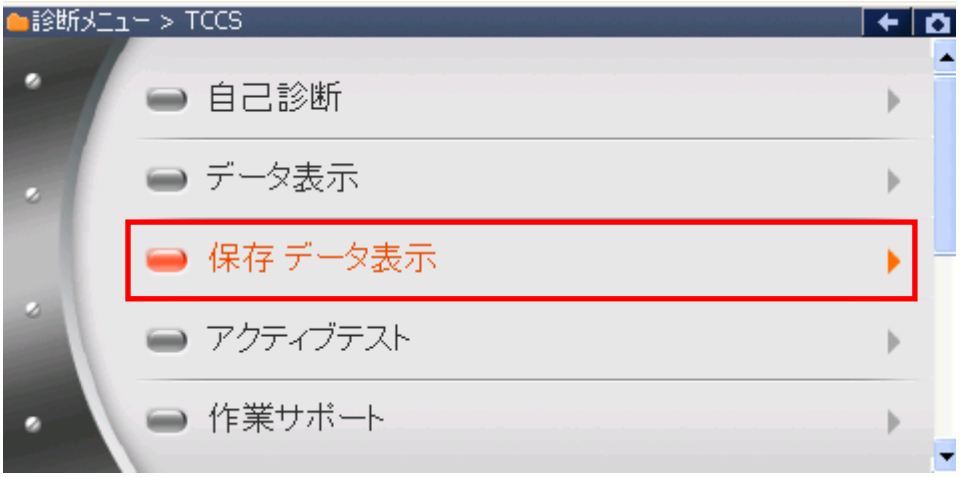



〈図:選択項目の表示〉

# 保存データ表示機能

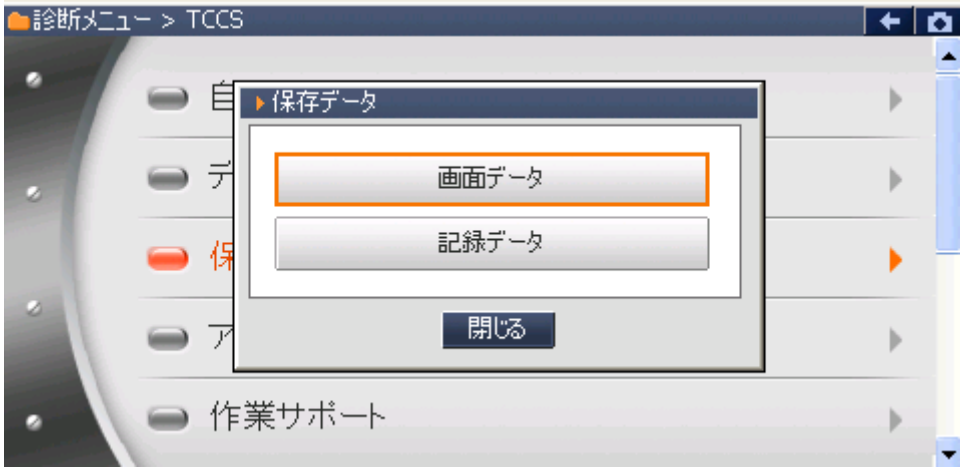
診断機能

1）保存データ表示機能では表示した画面を保存した内容を表示する画面データと、データ表示機能で記録、保存したデータを表示する記録データを選択することができます。診断メニューにおいて『保存データ表示』を選択してENTERボタンを押してください。



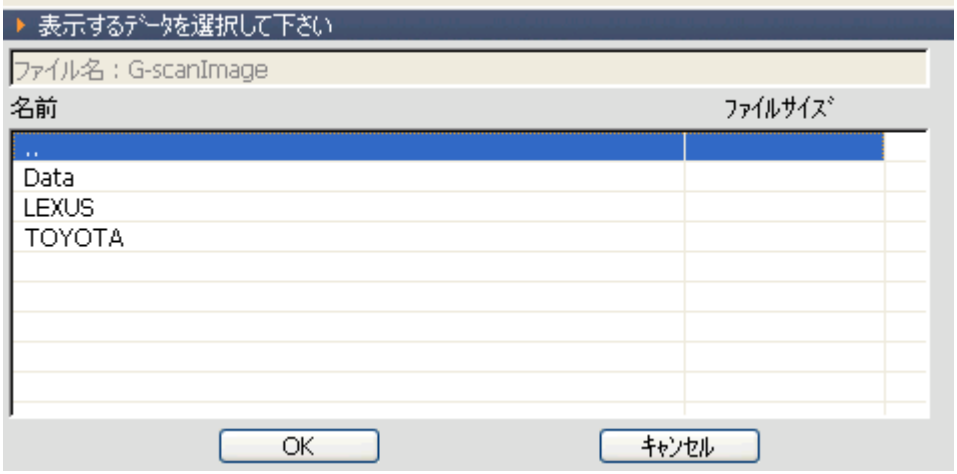

〈図：診断メニューにて保存データ表示を選択〉

2）保存データを選択すると、下記のように表示されます。画面データ、記録データのいずれかを選択してください。次に画面データを選択した場合の説明をします。



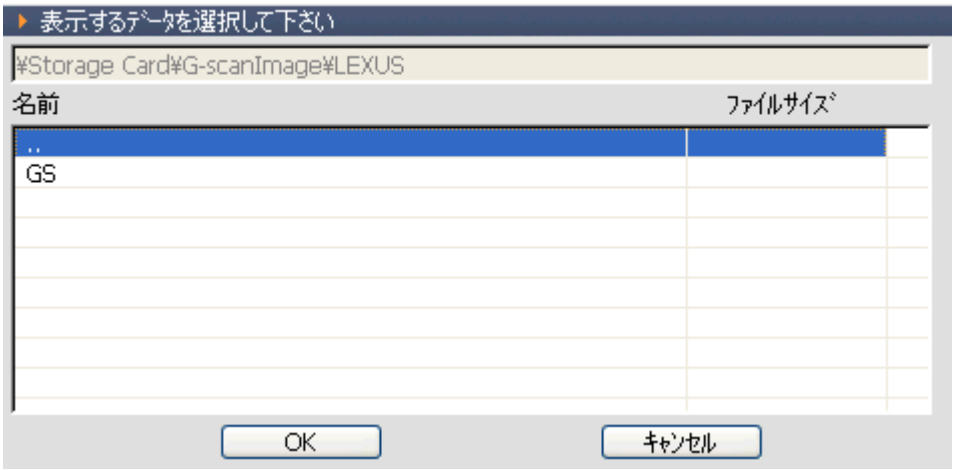

〈図：保存データ表示を選択した後の画面〉

3）画面データを選択すると、下記のように表示されます。保存されている画面データのメーカのフォルダが表示されます。ここでは、LEXUSを選択した場合を説明します。



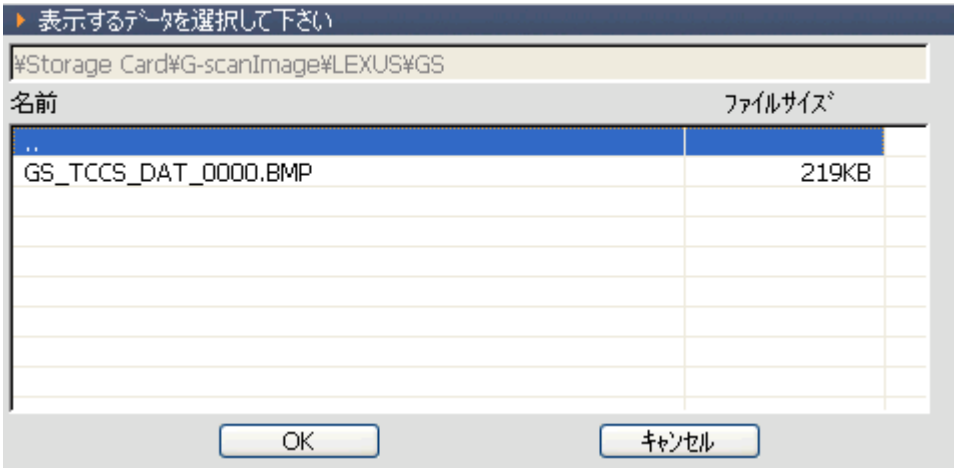

〈図：保存データ表示を選択した後の画面〉

4）LEXUSを選択すると保存されている車種名のフォルダが表示されます。ここでは、GSを選択します。




〈図：LEXUSを選択した後の画面〉

5）保存されているデータが表示されます。表示するデータを選択してください。

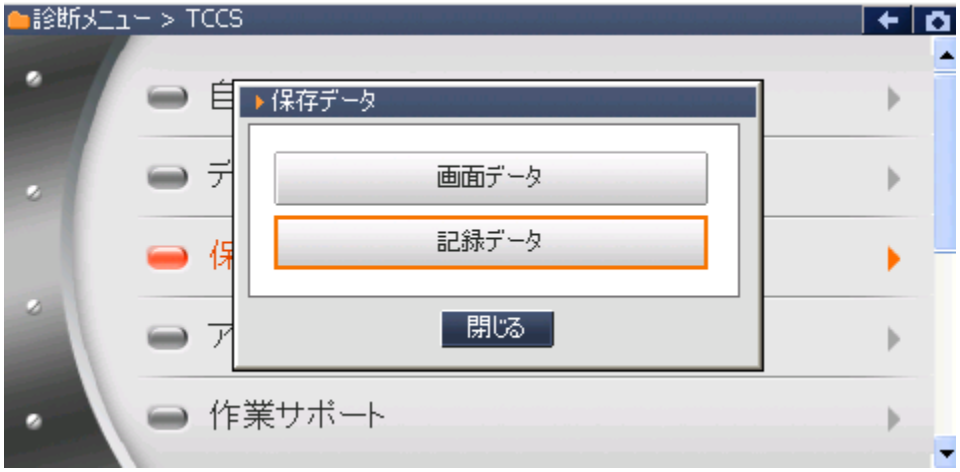



〈図：LEXUSを選択した後の画面〉

6）データを選択すると、下記のように表示されます。

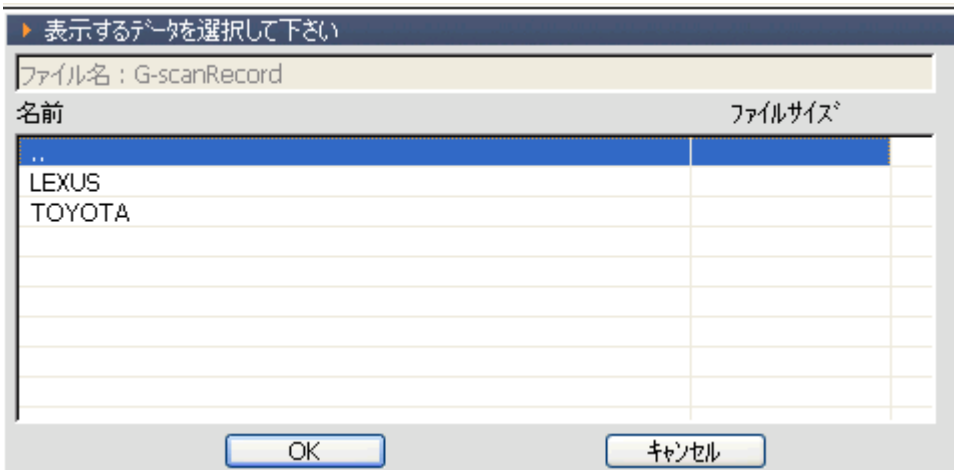
〈図：LEXUSを選択した後の画面〉

7）次に記録データを選択した時の説明をします。記録データを選択してください。




〈図：記録データの選択〉

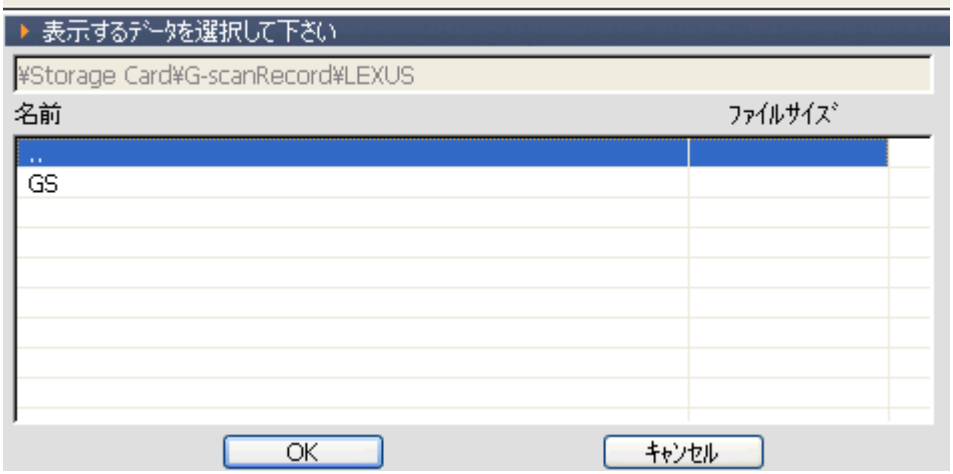
8）フォルダの選択画面が表示されるので、『LEXUS』フォルダを選択してOKボタンをタッチしてください。



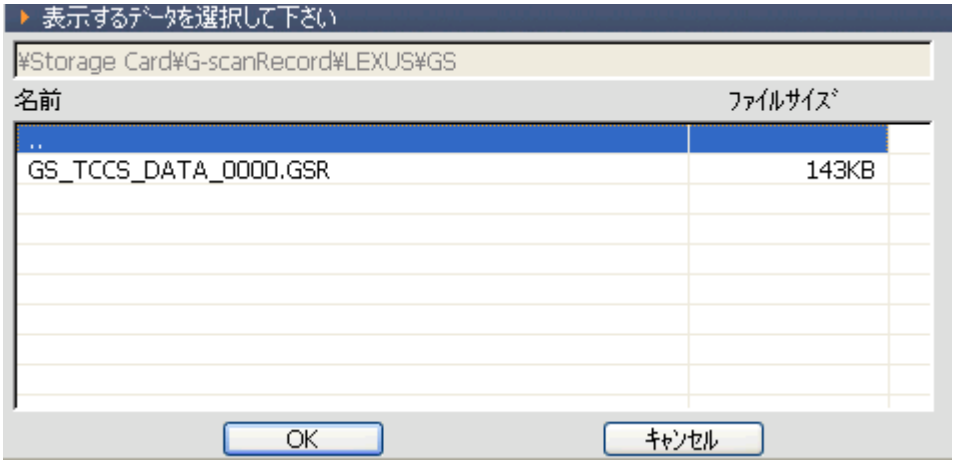

〈図：LEXUSを選択した後の画面〉

9）車種名が表記されたフォルダの一覧が表示されます。

フォルダを選択してOKボタンをタッチしてください。更に、保存ファイル名の何時欄が表示されます。表示するファイル名を選択してOKボタンをタッチしてください。

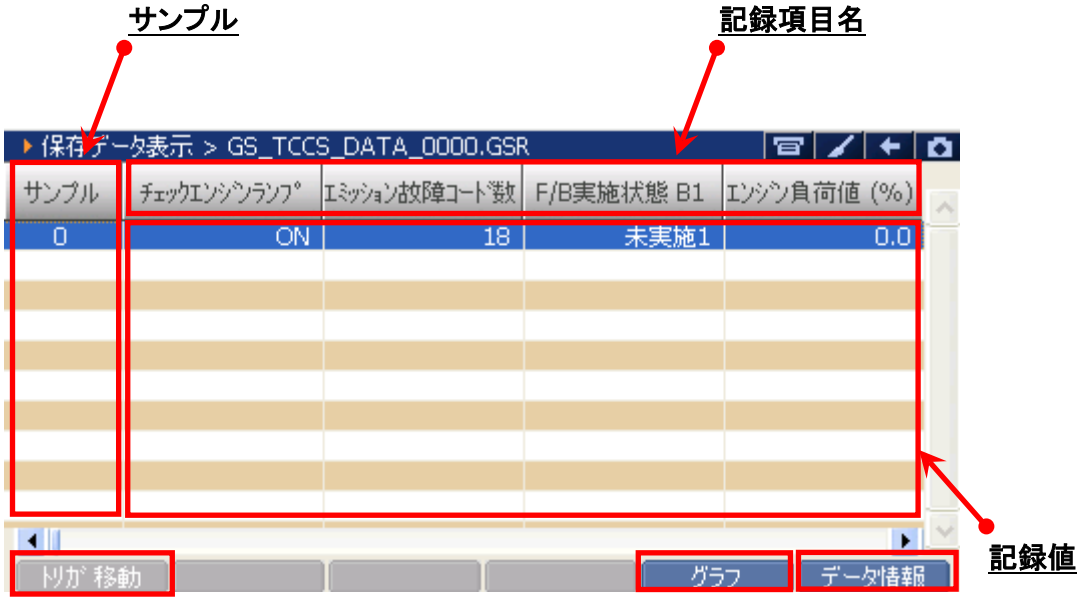



〈図：車種名フォルダを選択〉




〈図：保存フォルダー覧〉

10） データ表示で保存したデータが表示されます。




〈図：保存データ表示画面〉

**サンプル** ： 記録数が表示されます。

**記録項目名** ： 項目名が表示されます。
項目名の部分をタッチすると、横にスクロールした際その項目が固定されます。

**記録値** ： 値が表示されます。

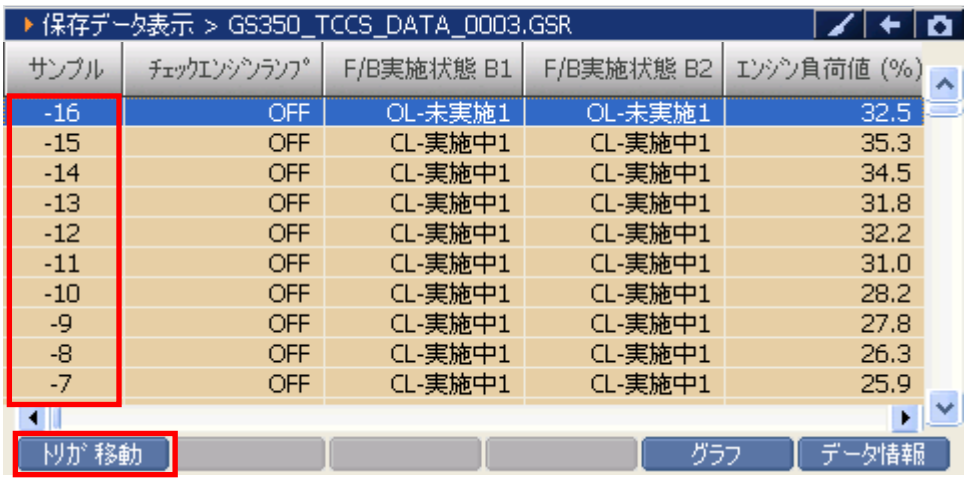
ﾄﾘｶﾞ 移動　0サンプル位置に移動します。【詳細はP53を参照】

グラフ　記録したデータをグラフで表示します。【詳細はP54を参照】

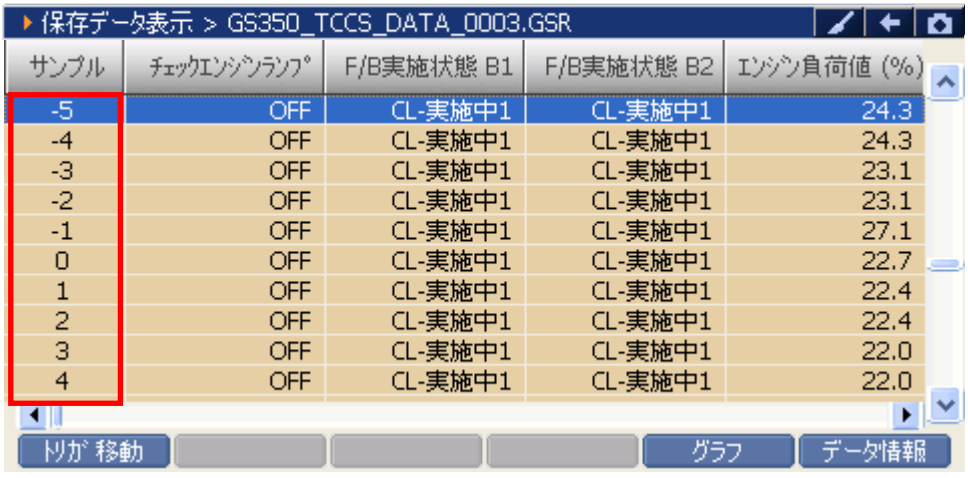
データ情報　保存したデータの情報を表示します。【詳細はP57を参照】

## ■ トリガ移動 ボタンの詳細

① トリガ移動 ボタンをタッチ、又は F1 ボタンを押すとOサンプルの位置に移動します。



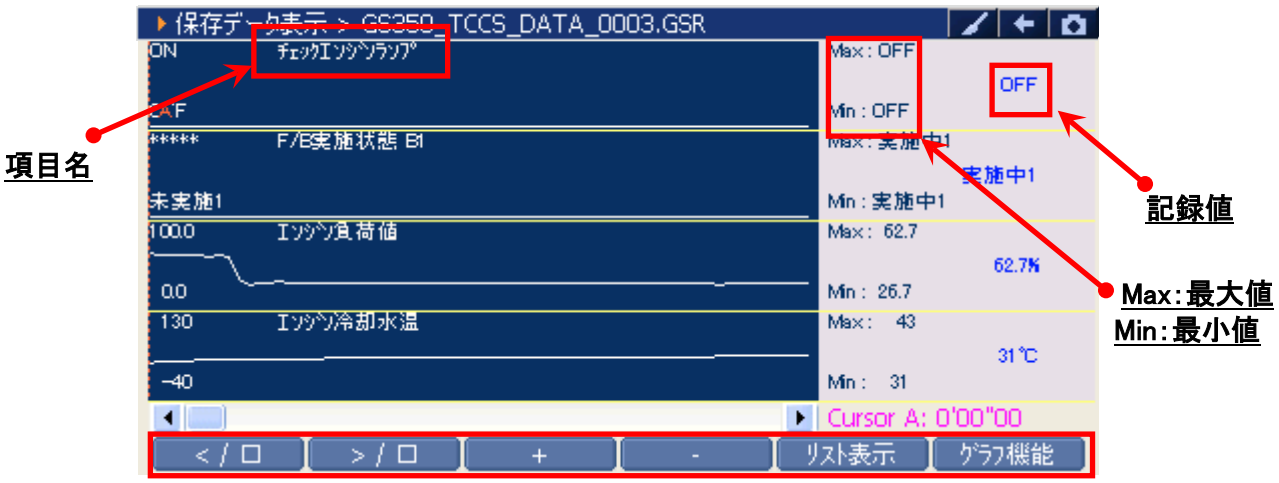

〈図:トリガ移動ボタンを選択〉




〈図:Oサンプル位置に移動〉

## ■ グラフ ボタンの詳細

① グラフ ボタンをタッチ、又は F4 ボタンを押すと数値で表示されていたデータがグラフで表示されます。




〈図:記録データのグラフ表示〉

**項目名** ： 項目名が表示されます。

**記録値** ： カーソルA上の値が表示されます。

**最大値/最小値** ： 最大値、最小値が表示されます。

< / □ グラフを左に送ります。

> / □ グラフを右に送ります。

\+ グラフを拡大します。

\- グラフを縮小します。

リスト表示 数値表示に戻ります。

グラフ機能 グラフ機能を使用します。【詳細はP55 ②を参照】

② グラフ機能 ボタンをタッチ、又は F6 ボタンを押すと以下の画面が表示されます。

〈図：グラフ機能の詳細〉

**表示項目** ： 表示する項目を選択します。【詳細は③を参照】

**カーソルA移動** ： コントロールをカーソルAに移動します。【詳細はP56 ④を参照】

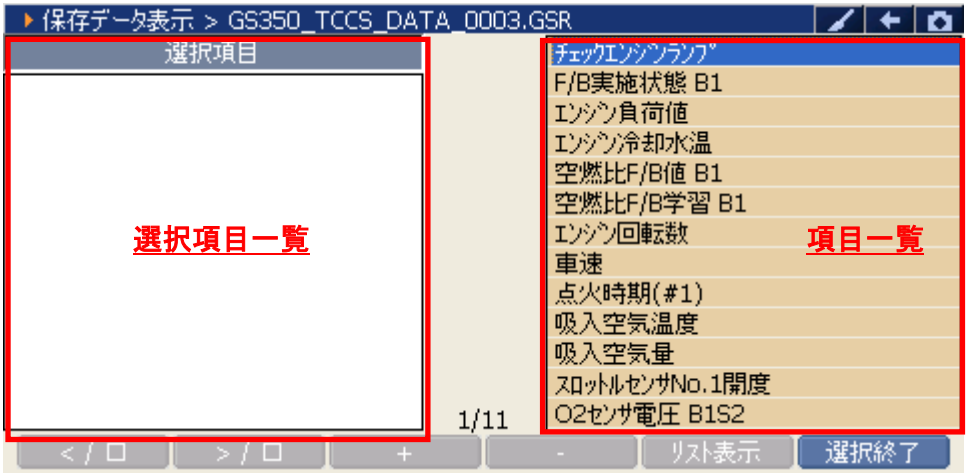
**カーソルB移動** ： コントロールをカーソルBに移動します。【詳細はP56 ⑤を参照】

**トリガ移動** ： カーソルAをトリガ位置（0サンプルの位置）に移動します。

**MinMaxリセット** ： 最大値、最小値をリセットします。

**データ情報** ： 保存したデータ情報を表示します。【詳細はP57 ①を参照】

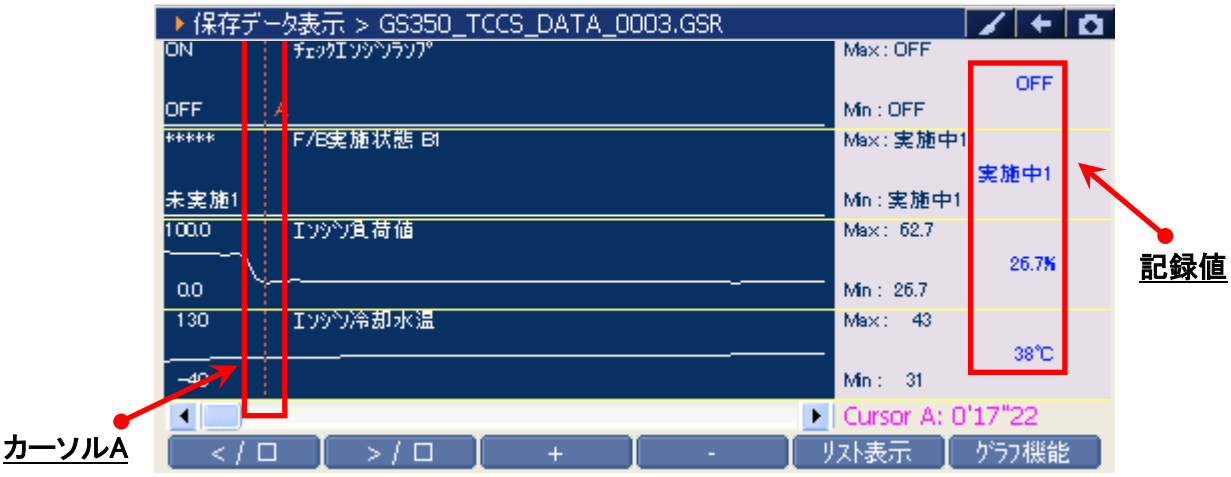
③ 『表示項目』を選択すると以下の画面が表示されますので、項目一覧から表示する項目にカーソルを合わせ ENTER ボタンを押して表示する項目を選択してください。 ◀ ▶ ボタンでページ移動します。 最大で12項目を選択可能です。




〈図：表示項目の選択〉

④ 『カーソルA移動』を選択するとカーソルAにコントロールが移ります。

[◀] [▶] ボタンを押して、カーソルAを移動させてください。カーソルA上にある値が、記録値に表示されます。




〈図：カーソルAの移動〉

⑤ 『カーソルB移動』を選択するとカーソルBにコントロールが移ります。

[◀] [▶] ボタンを押して、カーソルBを移動させてください。画面右下にカーソルAからカーソルBまでの時間が表示されます。

〈図：カーソルBを移動選択〉

## ■ データ情報 ボタンの詳細

① データ情報 ボタンをタッチ、又は F6 ボタンを押すか、グラフ機能 内の『データ情報』をタッチするとデータ情報画面が表示されます。データ情報画面では現在表示している保存データの詳細を表示します。

〈図:データ情報画面〉

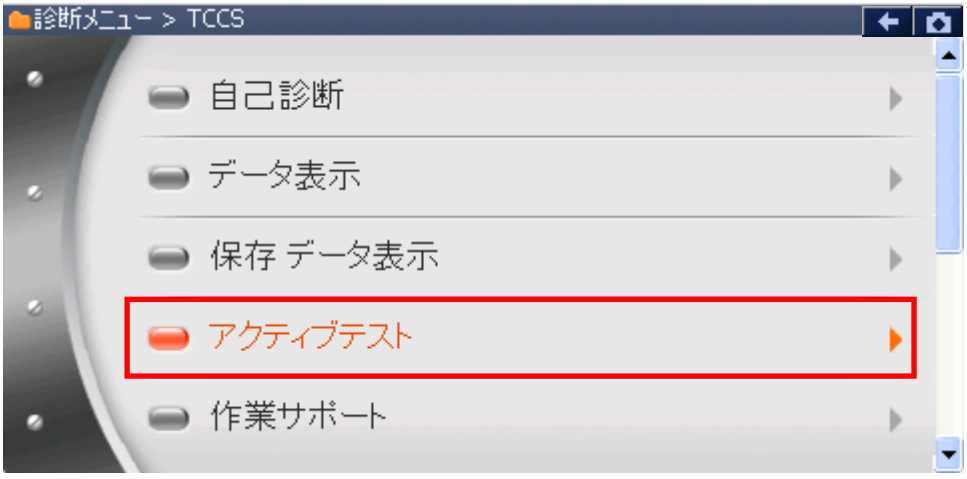
# アクティブテスト機能

診断機能

## 警告

- アクティブテストはレクサスのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。
- アクティブテストは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）で実行してください。
- アクティブテストを実行する場合は必ず車両を以下の状態にしてください。
  車両をこの状態にできない場合はアクティブテストを実行しないでください。
  1. 車両停止状態。（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）
  2. ブレーキペダルを踏込む。
  3. ギア位置はPレンジまたはNレンジにする。

1）診断メニューにおいて『アクティブテスト』を選択して ENTER ボタンを押してください。




〈図：診断メニューにてアクティブテストを選択〉

2）アクティブテスト画面が表示されます。

〈図：アクティブテスト画面〉

**テスト条件表示部** ： テスト条件が表示されます。

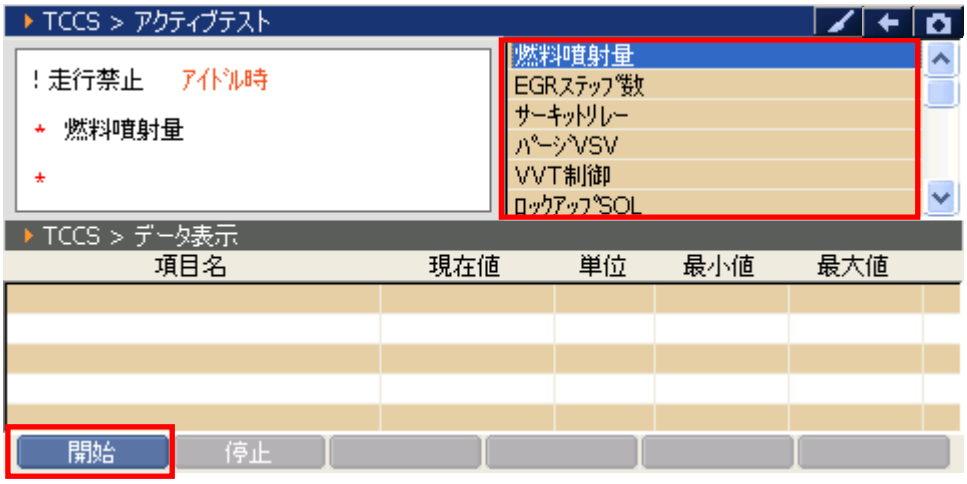
**テスト状態表示部** ： テスト状態が表示されます。

**項目一覧** ： アクティブテスト項目の一覧が表示されます。

**データ表示部** ： アクティブテスト中のデータが表示されます。

開始　アクティブテストを開始します。【詳細はP60　3）を参照】

3）アクティブテスト項目一覧の中から実行する項目を選択して、 開始 ボタンをタッチ、又は F1 ボタンを押してください。



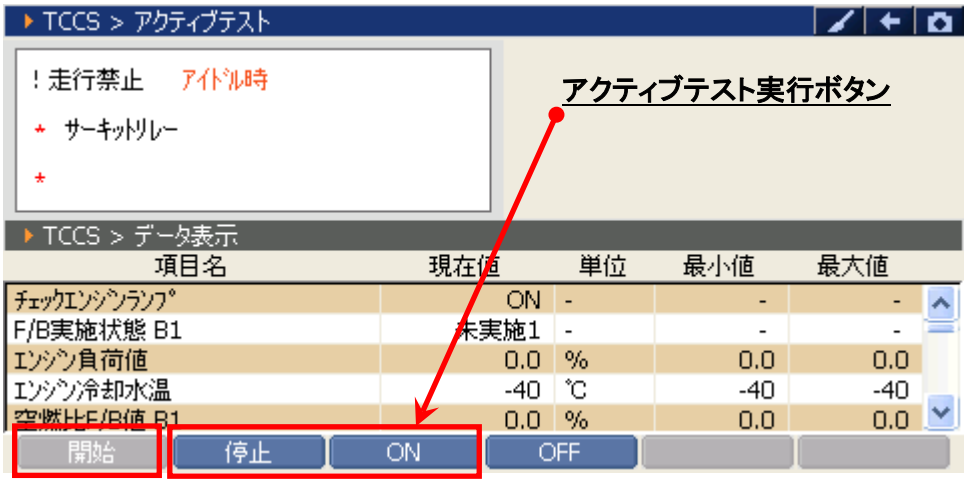

〈図：アクティブテスト開始〉

**※注意と補足※**

・ 実行できるアクティブテスト項目は車種、システムによって異なります。

詳細に関してはレクサスのサービスマニュアルをご参照ください。

4）アクティブテストが開始されます。アクティブテスト実行ボタンを操作してアクティブテストを行ってください。アクティブテストを停止すzる場合に 停止 ボタンを F2 タッチ、又は ボタンを押してください。




〈図：サーキットリレー　アクティブテスト実行例〉

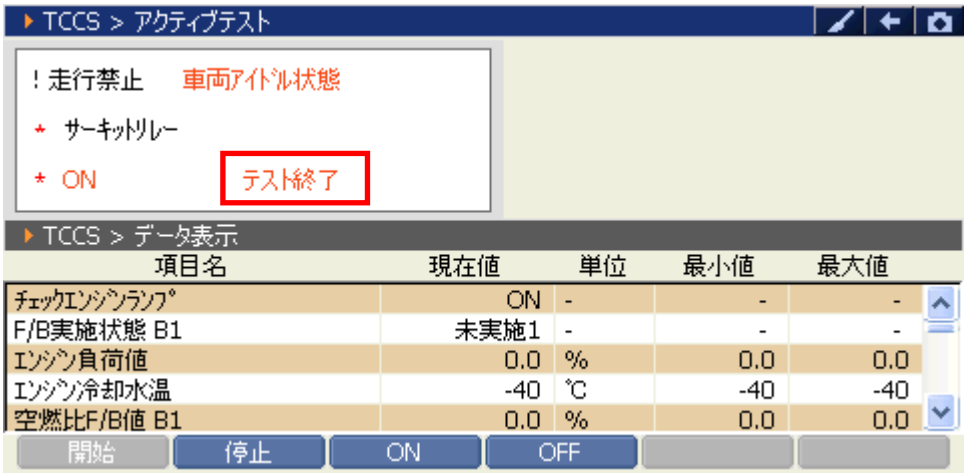
**※注意と補足※**

- P60　4）の画面はサーキットリレーのアクティブテスト実行画面です。アクティブテスト実行ボタンに表示される内容は実行するアクティブテストによって異なります。
- アクティブテストにはテスト条件がある項目があります。

  テスト条件を超えた場合、テスト状態表示部に『テスト失敗』と表示されます。

  『テスト失敗』と表示された場合、車両を以下状態にして、再度アクティブテストを実行してください。

  1. 車両停止状態。（パーキングブレーキをかける）
  2. ブレーキペダルを踏込む。
  3. ギア位置はPレンジまたはNレンジにする。




〈図：アクティブテスト成功〉

# 作業サポート機能

診断機能

## 警告

- 作業サポートはレクサスのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。
- 作業サポートは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）で実行してください。
- 作業サポートを実行する場合は必ず車両を以下の状態にしてください。
  車両をこの状態にできない場合は作業サポートを実行しないでください。
  1. 車両停止状態。（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）
  2. ブレーキペダルを踏込む。
  3. ギア位置はPレンジまたはNレンジにする。

作業サポート対応項目一覧は以下のとおりです。

＜＜TCCS＞＞

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| A/Fセンサ学習値初期化 | ディーゼル車のみ対応：<br>A/Fセンサ交換時に実施します。 |
| AT/CVT学習値初期化 | ATまたはCVT交換時、<br>及びECU交換時に実施します。 |
| CVT油圧学習開始 | CVT交換時、ECU交換時に実施します。 |
| DPNR強制再生(PM) | ディーゼル車のみ対応：<br>DPNRのPM強制再生を実施します。 |
| DPNR強制再生(S) | ディーゼル車のみ対応：<br>DPNRのS被毒強制再生を実施します。 |
| DPNR劣化記録初期化 | ディーゼル車のみ対応：<br>DPNRの劣化記録を初期化します。 |
| DPR強制再生 | ディーゼル車のみ対応：<br>DPRのPM強制再生を実施します。 |
| Gセンサ0点学習開始 | CVT交換時、CVT関連部品交換時、<br>及びECU交換時に実施します。 |

＜＜TCCS 続き＞＞

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| S被毒回復制御 | ディーゼル車のみ対応：<br>DPNRのS被毒強制再生を実施します。 |
| インジェクタIDコード登録(ECU交換時) | ディーゼル車のみ、ECU交換時のみ対応：<br>インジェクタIDコードを登録します。 |
| インジェクタIDチェック | ディーゼル車のみ対応：<br>インジェクタIDコードを確認します。 |
| インジェクタクラス確認 | ディーゼル車のみ対応：<br>現在車両に搭載されているインジェクタクラス<br>を表示します。<br>A、B、Cクラスと設定されているインジェクタ<br>が該当する項目です。 |
| インジェクタクラス設定 | ディーゼル車のみ対応：<br>エンジンコントロールコンピュータ交換後<br>またはインジェクタASSY(全ての本数)<br>交換時に実施します。<br>A、B、Cクラスと設定されているインジェクタ<br>が該当する項目です。 |
| インジェクタ補正(手動ID登録) | ディーゼル車のみ対応：<br>インジェクタASSY、エンジンまたは<br>エンジンコンピュータ(旧データ)を交換時に<br>実施します。 |
| サプライポンプ学習値初期化 | ディーゼル車のみ対応：<br>インジェクション(サプライ)ポンプまたは<br>エンジンコントロールコンピュータを交換後に<br>実施します。 |
| メモリリセット | エンジンコンピュータの記憶をリセットします。 |
| 広域気筒間補正学習値初期化 | ディーゼル車のみ対応：<br>エンジン交換時またはタイミングロータ<br>(エンジンASSYを含む)を交換時に<br>実施します。 |
| 車両走行距離書込み | ディーゼル車のみ対応：<br>インジェクタASSYを交換した時に実施します。 |
| 触媒記録初期化 | ディーゼルのみ対応：<br>DPNRの触媒記録を初期化します。 |
| 電子スロットル学習 | 電子スロットルバルブの全閉位置学習を<br>実施します。 |
| 微小噴射量詳細学習 | ディーゼルのみ対応：<br>エンジンASSY、インジェクタを交換時に<br>微小噴射量を学習するために使用します。 |
| 微小噴射量通常学習 | ディーゼルのみ対応：<br>インジェクタASSY、エンジンまたは<br>エンジンコントロールコンピュータ交換時、<br>インジェクタ補正(手動ID登録)を実施後に<br>行います。 |
| 微小噴射量通常学習初期化 | ディーゼルのみ対応：<br>微笑噴射量通常学習値を初期化します。 |

＜＜ECT･SMT･MMT＞＞

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| AT/CVT学習値初期化 | ATまたはCVT交換時、<br>及びECU交換時に実施します。 |
| ATユニット補正(ATコード初期化) | AT ASSYまたはATコントロールコンピュータを<br>交換時に実施します。 |
| CVT油圧学習開始 | CVT交換時、ECU交換時に実施します。 |
| Gセンサ0点学習開始 | CVT交換時、CVT関連部品交換時、<br>及びECU交換時に実施します。 |
| クラッチ調整回数 | クラッチの調整回数を確認します。 |
| チェックモード | チェックモードに移行します。 |
| メモリリセット | ECT ECUの学習値をリセットします。 |
| 部品交換 | SMTの部品交換をした時に実施します。 |

＜＜HV＞＞

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 整備モード 2WD | 2WDの車両でスピードメーターテスター、<br>2輪シャシダイナモメーターでの試験などで<br>実施します。 |
| 整備モード 2WD(TRC禁止用) | 2WDの車両でスピードメーターテスター、<br>2輪シャシダイナモメーターでの試験などで<br>実施します。<br>TRC装置の作動禁止を行います。 |
| 整備モード 2WD(排ガス測定用) | 点火時期点検などのエンジン調整、<br>車両検査時のアイドルCO/HC点検などで<br>実施します。<br>シフトポジションP時の<br>エンジン強制アイドリングを行います。 |
| 整備モード 4WD | 4WDの車両でスピードメーターテスター、<br>4輪シャシダイナモメーターでの試験などで<br>実施します。 |
| 整備モード 4WD(TRC禁止用) | 4WDの車両でスピードメーターテスター、<br>4輪シャシダイナモメーターでの試験などで<br>実施します。<br>TRC装置の作動禁止を行います。 |
| 整備モード 4WD(排ガス測定用) | 点火時期点検などのエンジン調整、<br>車両検査時のアイドルCO/HC点検などで<br>実施します。<br>シフトポジションP時の<br>エンジン強制アイドリングを行います。 |
| 電池制御データ初期化 | システムメインリレーを交換時に実施します。 |

＜＜電池＞＞

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| ECU初期化 | HVサプライバッテリASSY交換時に実施します。 |
| ECU初期化(海外向け) | HVサプライバッテリASSY交換時に実施します。 |
| SOC書き換え(試験運用機能) | SOCを書き換えます。 |
| V80制御フラグ許可(試験運用機能) | V80制御設定を行います。 |
| 均等充電フラグ許可(試験運用機能) | オンボード均等充電を実行します。 |

＜＜FCHV＞＞

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 整備モード | 整備モードに移行します。 |

＜＜ABS･VSC＞＞

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| VSC系0点消去 | VSC関連のセンサを交換または<br>ECU交換時に実施します。 |
| アキュムレータ0ダウン駆動 | ブレーキアクチュエータ交換時に実施します。 |
| アクチュエータ交換後のエア抜き | ECBシステムのみ対応：<br>アクチュエータ交換時のエア抜きの時に<br>実施します。 |
| エア抜き | VSC、ECB、ハイドロブースタの<br>ブレーキアクチュエータ内のソレノイドを<br>駆動して、アクチュエータ内の<br>エアを抜く作業です。 |
| エア抜き(海外向け) | VSC、ECB、ハイドロブースタの<br>ブレーキアクチュエータ内のソレノイドを<br>駆動して、アクチュエータ内の<br>エアを抜く作業です。 |
| テストモード | テストモードに移行します。 |
| バックアップメモリ消去 | ECUのバックアップメモリの<br>消去(初期化)を実施します。 |
| ヨーレート・Gセンサ0点消去(ECB用) | ヨーレートセンサ・Gセンサ交換時、<br>またはECU交換時に実施します。 |
| リニア弁学習値初期化 | ブレーキアクチュエータ交換時、<br>ブレーキペダルストロークセンサ交換時、<br>ECU交換時に実施します。 |
| 吸入系エア抜き | VSCシステムのみ対応：<br>吸入系エア抜きを実施します。 |
| 減圧系エア抜き | VSCシステムのみ対応：<br>減圧系エア抜きを実施します。 |
| 整備モード | ハイブリッド車以外の車両が該当：<br>スピードメーターテスター、<br>2輪シャシダイナモメーターでの試験など<br>で実施します。<br>TRC装置の作動禁止を行います。 |
| 通常のエア抜き | ECBシステムのみ対応：<br>通常のエア抜きの時に実施します。 |

＜＜ABS･VSC･ARS＞＞

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| エア抜き | VSC、ECB、ハイドロブースタの<br>ブレーキアクチュエータ内のソレノイドを<br>駆動して、アクチュエータ内の<br>エアを抜く作業です。 |
| バックアップメモリ消去 | ECUのバックアップメモリの<br>消去(初期化)を実施します。 |
| 吸入系エア抜き | VSCシステムのみ対応：<br>吸入系エア抜きを実施します。 |
| 減圧系エア抜き | VSCシステムのみ対応：<br>減圧系エア抜きを実施します。 |

＜＜電動PKB＞＞

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| メモリリセット | 電子パーキングブレーキコンピュータの<br>学習値を消去します。 |

＜＜電動パワステ＞＞

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| ステアリング0点補正 | パワーステアリングリンクコンピュータ、<br>ステアリングコラムASSY(トルクセンサ内臓)<br>交換を行った場合、および打操舵力に<br>左右差がある場合に実施します。 |
| 回転角センサ出力補正 | パワーステアリングASSY、<br>パワーステアリングコンピュータASSY<br>交換を行った場合や操舵力に<br>左右差がある場合は、<br>コンピュータのセンサ補正値を消去した後、<br>回転角センサ出力補正および<br>トルクセンサ0点補正を実施します。 |

＜＜VGRS＞＞

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| ステアリング角調整 | ステアリング角度調整を行います。 |

＜＜イモビライザ＞＞

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| イモビライザ初期化 | イモビライザ初期化時に実施します。 |
| キーコードの消去 | キーコードを消去します。 |
| キーコードの登録 | キーコードを登録します。 |
| キーコード消去 | キーコードを消去します。 |
| キーコード登録(マスターキー付) | マスターキー付のキーコードを登録します。 |
| トランスポンダコード消去 | トランスポンダコードを消去します。 |
| トランスポンダコード登録 | トランスポンダコードを登録します。 |
| 自動登録 | キーコードを自動登録します。 |

＜＜エアコン＞＞

| 項目 | 説明 |
| --- | --- |
| サーボモータ初期化 | サーボモータECU、<br>A/Cアンプリファイアを交換した時、<br>バッテリを外した時に実施します。 |

＜＜タイヤ空気圧＞＞

| 項目 | 説明 |
| --- | --- |
| ID登録 | タイヤID登録を実施します。 |

＜＜ボデー＞＞

| 項目 | 説明 |
| --- | --- |
| ボディコントロールモジュール初期化 | ECU接続情報を初期化します。 |
| ワイヤレスコード消去 | ワイヤレスコードを消去します。 |
| ワイヤレスコード登録 | ワイヤレスコードを登録します。 |

＜＜ゲートウェイ＞＞

| 項目 | 説明 |
| --- | --- |
| ECU接続情報初期化 | オプション装備の取り外し時、<br>ECUの追加、取り外し時に実施します。 |

＜＜ECBゲートウェイ＞＞

| 項目 | 説明 |
| --- | --- |
| ECU接続情報初期化 | オプション装備の取り外し時、<br>ECUの追加、取り外し時に実施します。 |

＜＜ECMゲートウェイ＞＞

| 項目 | 説明 |
| --- | --- |
| ECU接続情報初期化 | オプション装備の取り外し時、<br>ECUの追加、取り外し時に実施します。 |

＜＜パワマネゲートウェイ1＞＞

| 項目 | 説明 |
| --- | --- |
| ECU接続情報初期化 | オプション装備の取り外し時、<br>ECUの追加、取り外し時に実施します。 |

＜＜パワマネゲートウェイ2＞＞

| 項目 | 説明 |
| --- | --- |
| ECU接続情報初期化 | オプション装備の取り外し時、<br>ECUの追加、取り外し時に実施します。 |

＜＜照合＞＞

| 項目 | 説明 |
| --- | --- |
| キーコードの消去 | キーコードを消去します。 |
| キーコードの登録 | キーコードを登録します。 |
| キー通信チェック | キーとトランスミッタとチューナーの<br>通信チェックを行います。 |

＜＜AFS＞＞

| 項目 | 説明 |
| --- | --- |
| ECU情報同期 | AFS ECUがエンジンとボディECUからの<br>情報を同期するために使用します。 |

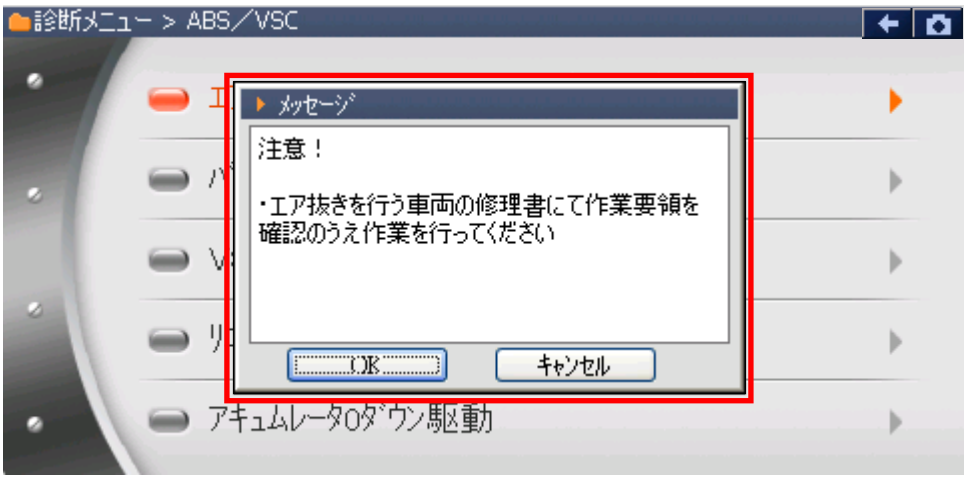
ABS/VSC　エア抜きを実行した場合

## 警告

- エア抜きを行う場合は、レクサスのサービスマニュアルにて作業要領を確認の上作業を行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。

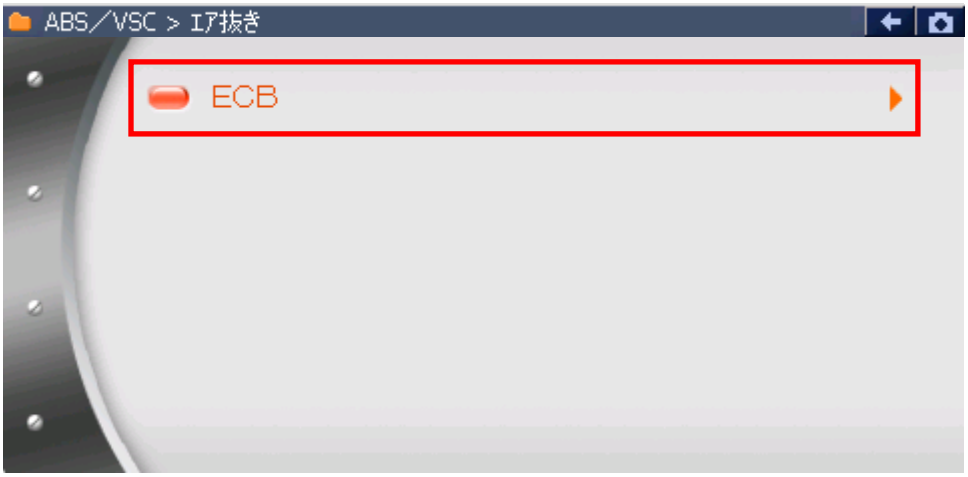
■エア抜き＜例１＞

1） 作業サポート項目選択画面で、『エア抜き』を選択した場合、以下の注意画面が表示されます。注意事項を確認して、よろしければ OK ボタンをタッチしてください。



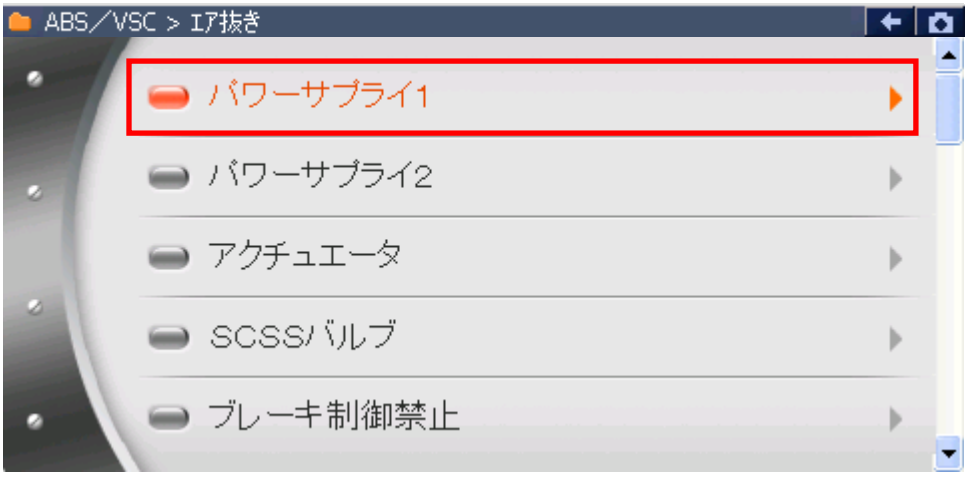

〈図：エア抜きの注意画面〉

2） 実行するブレーキの種類を選択して ENTER ボタンを押してください。



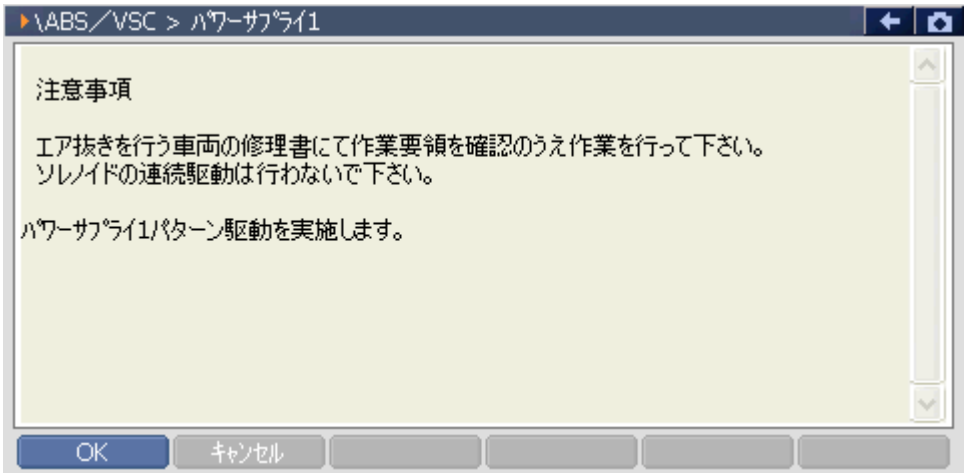

〈図：ブレーキの種類を選択〉

3）エア抜きの作業項目一覧が表示されます。作業項目を選択して ENTER ボタンを押してください。




〈図：作業項目の選択〉

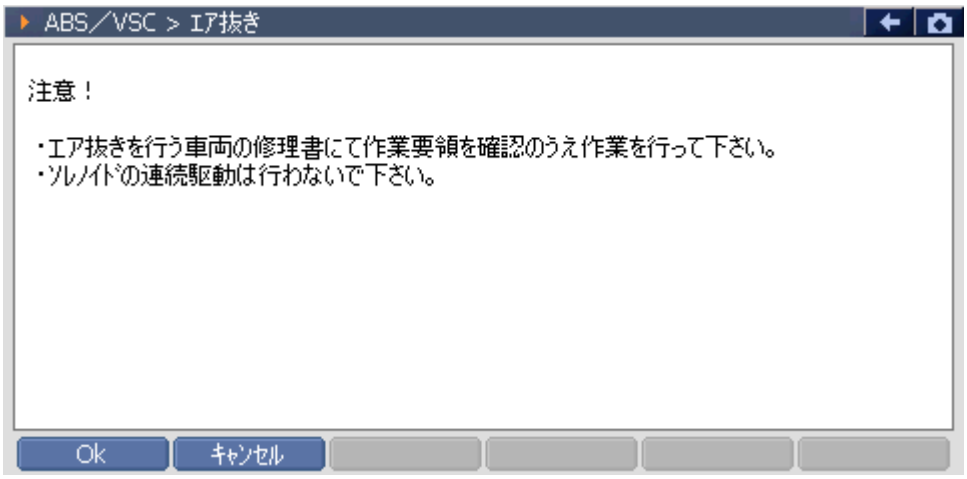
4）画面の指示に従い、エア抜きを実行してください。




〈図：作業項目の実行〉

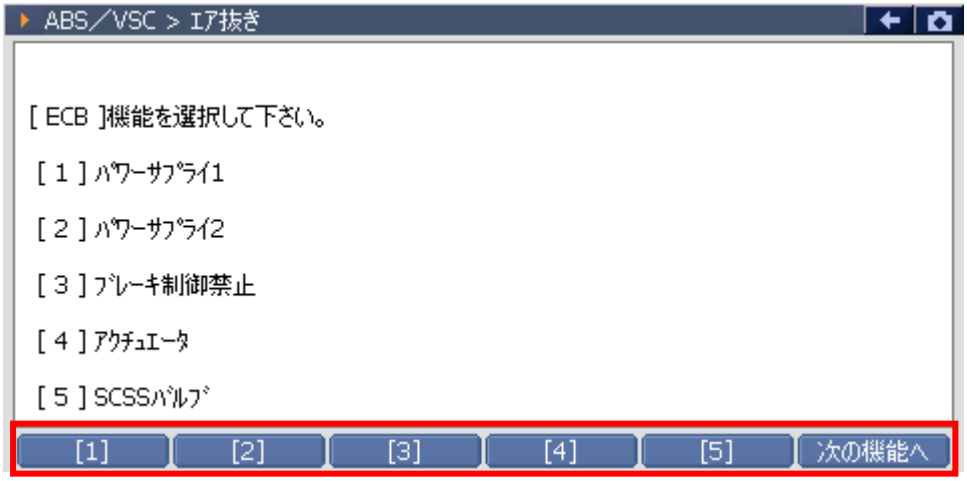
■エア抜き＜例2＞

1）作業サポート項目選択画面で、『エア抜き』を選択した場合、以下の注意画面が表示されます。注意事項を確認して、よろしければ Ok ボタンをタッチしてください。



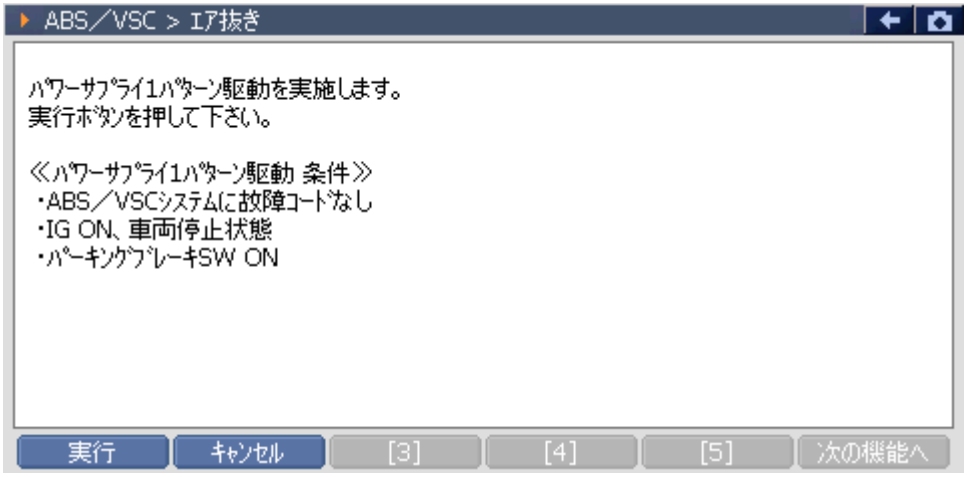

〈図：エア抜きの注意画面〉

2）診断車両によりECBまたはVSCの作業項目一覧が表示されます。
作業項目の番号ボタンをタッチしてください。




〈図：作業項目の選択〉

3）画面の指示に従い、エア抜きを実行してください。




〈図：作業項目の実行〉

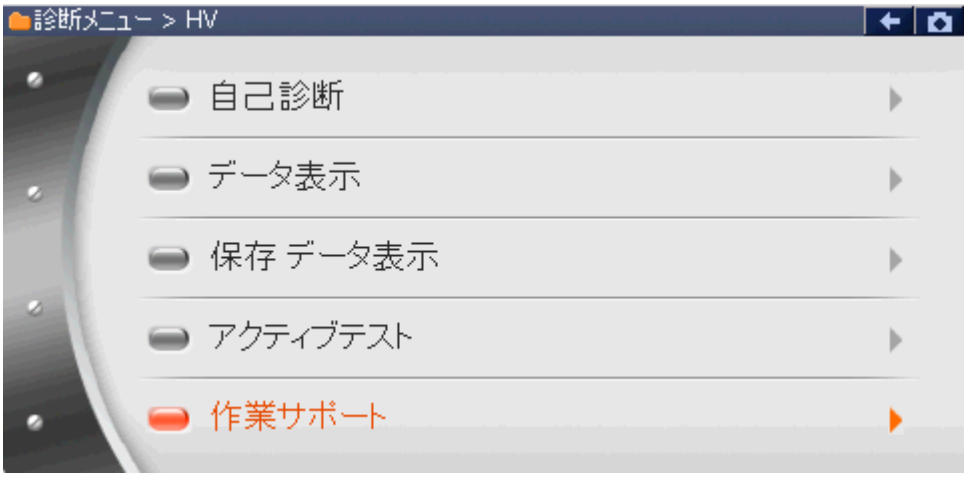
**※注意と補足※**

- ソレノイドを駆動した場合、駆動停止後ソレノイド保護のため約20秒間はソレノイド駆動できません。また、この間は操作もできません。
- 診断車両によっては、エア抜きの一連の作業中にABS／VSCシステムに故障コードが記憶される場合があります。エア抜きの各作業を行う際には故障コードが記憶されていないことを確認してください。
- エア抜きの作業項目は車種、システムによって異なります。

  詳細に関してはレクサスのサービスマニュアルをご参照ください。

HV(ハイブリッド) 整備モード 2WD(排ガス測定用)を実行した場合

1) 診断メニューにおいて『作業サポート』を選択して ENTER ボタンを押してください。

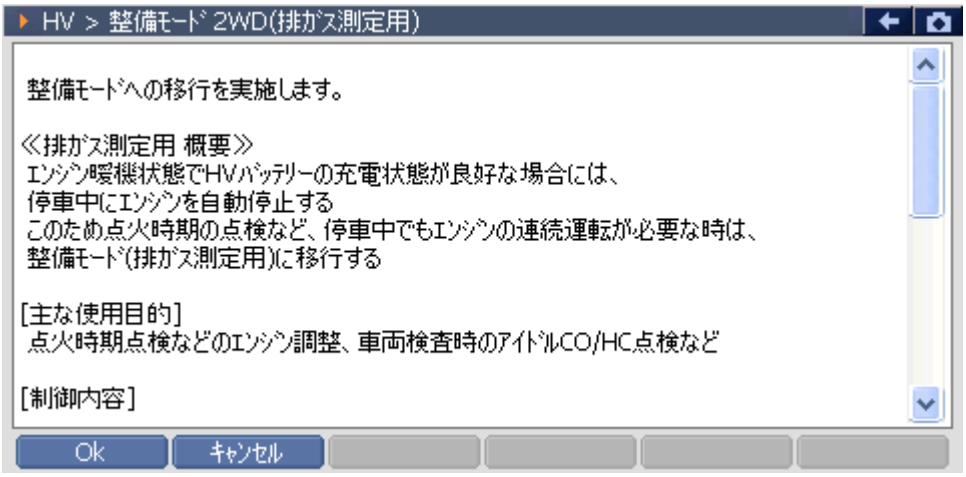



〈図:診断メニューにて作業サポートを選択〉

2) 作業サポート項目選択画面が表示されます。整備モード 2WD(排ガス測定用)を選択して ENTER ボタンを押してください。

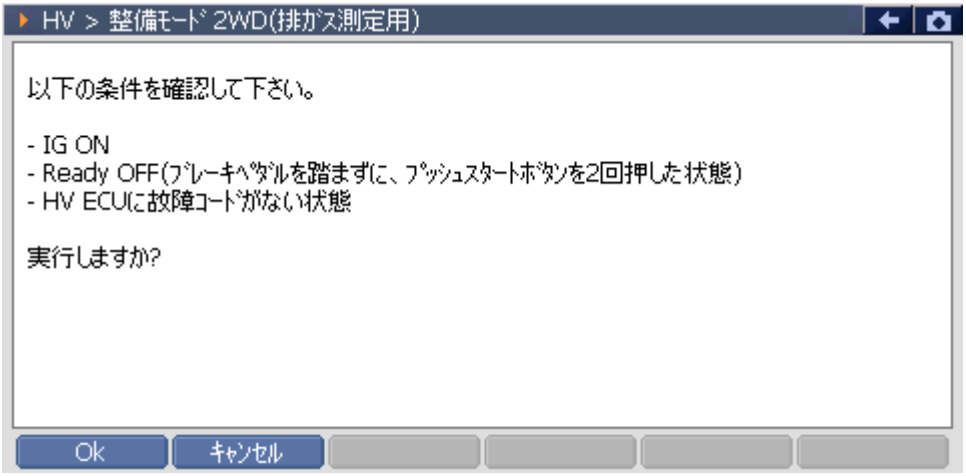
〈図:作業サポート項目選択画面〉

3) 整備モード　2WD(排ガス測定用)実行画面が表示されます。画面の指示に従って作業サポートを実行してください。




〈図：整備モード　2WD(排ガス測定用)を選択した画面〉

4) 「OK」を押すと、下記のように表示されます。条件を見たいしていることを確認して「OK」を押してください。

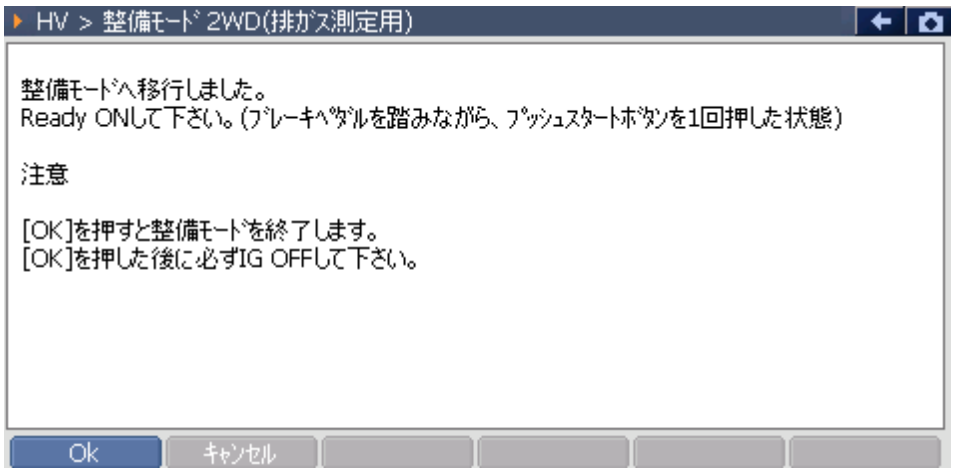



〈図：整備モード　2WD(排ガス測定用)の条件を表示した画面〉

5) 整備モードに移行されると、下記のように表示されます。

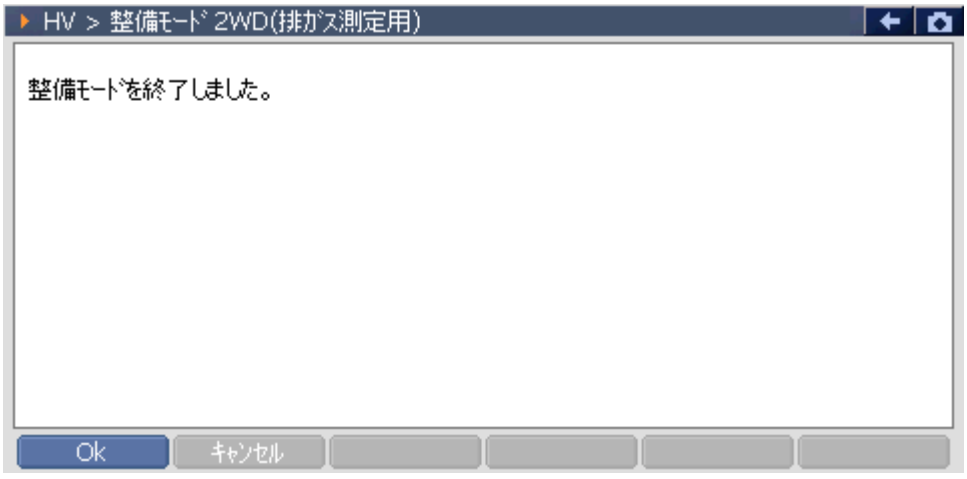
車両をReady ONの状態にしてアイドリングが継続されるか確認してください。

整備モードを終了する場合は、「OK」を押してください。




〈図：整備モード 2WD(排ガス測定用)に移行した画面〉

6) 整備モードを終了したことをお知らせします。




〈図：整備モード 2WD(排ガス測定用)の終了を告知する画面〉

# カスタマイズ機能

診断機能

カスタマイズ機能とは、車両の設定を変更する機能です。

対応しているカスタマイズ機能は以下の通りです。

＜＜ワイヤレスドアロック＞＞

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 2オペレーションロック解除 | 2オペレーションロック解除の設定を変更します。 |
| アンロック時室内照明・足元照明 | アンロック時の室内照明と足元照明の設定を変更します。 |
| オートロック時間 | オートロック時間の設定を変更します。 |
| カーファインダー機能 | カーファインダー機能の設定を変更します。 |
| キーレスアンサーバック | キーレスアンサーバックの設定を変更します。 |
| トランクオープナー | トランクオープナーの設定を変更します。 |
| パニックアラーム機能 | パニックアラーム機能の設定を変更します。 |
| パニック機能 | パニック機能の設定を変更します。 |
| ワイヤレスオートロック | ワイヤレスオートロックの設定を変更します。 |
| ワイヤレスガラスハッチ開機能コード選択 | ワイヤレスガラスハッチ開機能コード選択の設定を変更します。 |
| ワイヤレスメインSW | ワイヤレスメインSWの設定を変更します。 |
| ワイヤレス連動P/Wアップ | ワイヤレス連像P/Wアップの設定を変更します。 |
| ワイヤレス連動P/Wダウン | ワイヤレス連動P/Wダウンの設定を変更します。 |
| 作動確認ブザー音量 | 作動確認ブザー音量の設定を変更します。 |
| 半ドアウォーニング | 半ドアウォーニングの設定を変更します。 |

＜＜ドアロック＞＞

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| D席2回操作アンロック | 運転席2回操作アンロックの設定を変更します。 |
| D席開時アンロック | 運転席開時アンロックの設定を変更します。 |
| シフト・ブレーキ連動ドアロック | シフト･ブレーキ連動ドアロックの設定を変更します。 |
| シフト連動ドアアンロック | シフト連動ドアアンロックの設定を変更します。 |
| シフト連動ドアロック | シフト連動ドアロックの設定変更をします。 |
| ダブルロック設定 | ダブルロック設定を変更します。 |
| メカキーでのセキュリティ解除 | メカキーでのセキュリティ解除の設定を変更します。 |
| 車速オートロック | 車速オートロックの設定を変更します。 |
| 車速オートロック(1回) | 車速オートロック(1回)の設定を変更します。 |

＜＜セキュリティ＞＞

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| Passiveモード | Passiveモードの設定を変更します。 |
| Passiveモード(セキュリティシステム) | Passiveモード(セキュリティシステム)の<br>設定を変更します。 |
| アンサーバック | アンサーバックの設定を変更します。 |
| ウインドウオープン警告 | ウインドウオープン警告の設定を変更します。 |
| ガラス割れセンサによる警報 | ガラス割れセンサによる警告の設定を変更します。 |
| スライドルーフオープン警告 | スライドルーフオープン警告の設定を変更します。 |
| セキュリティインジケータ | セキュリティインジケータの設定を変更します。 |
| ホーン警告 | ホーン警告の設定します。 |
| メカキーでのセキュリティ解除 | メカキーでのセキュリティ解除の<br>設定を変更します。 |
| メカニカルキーセキュリティ制御 | メカニカルキーセキュリティ制御の<br>設定を変更します。 |
| 警告作動時間 | 警告作動時間の設定を変更します。 |
| 警告作動遅延時間 | 警告作動遅延時間の設定を変更します。 |
| 侵入センサ | 侵入センサの設定を変更します。 |
| 窓開侵入センサ | 窓開侵入センサの設定を変更します。 |

＜＜パワーウインドウ＞＞

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| D席リモートP席オートUP作動 | 運転席のリモート操作で<br>助手席のパワーウインドウをオートUP作動<br>させる設定を変更します。 |
| D席リモートRL席オートUP作動 | 運転席のリモート操作で<br>RL席のパワーウインドウをオートUP作動<br>させる設定を変更します。 |
| D席リモートRR席オートUP作動 | 運転席のリモート操作で<br>RR席のパワーウインドウをオートUP作動<br>させる設定を変更します。 |
| P/W全閉機能 | パワーウインドウ全閉機能の設定を変更します。 |
| P席オートUP作動 | 助手席パワーウインドウオートUP作動の<br>設定を変更します。 |
| RL席オートUP作動 | RL席パワーウインドウオートUP作動の<br>設定を変更します。 |
| RR席オートUP作動 | RR席パワーウインドウオートUP作動の<br>設定を変更します。 |
| ドアキー連動バックドアP/Wアップ | ドアキーと連動したバックドア<br>パワーウインドウアップ機能の<br>設定を変更します。 |
| ドアキー連動バックドアP/Wダウン | ドアキーと連動したバックドア<br>パワーウインドウダウン機能の<br>設定を変更します。 |
| ドアトリガー P/W 制御 | ドアトリガーパワーウインドウ制御の<br>設定を変更します。 |
| ワイヤレス連動P/Wアップ | ワイヤレスキーと連動した<br>パワーウインドウアップ機能の設定を変更します。 |

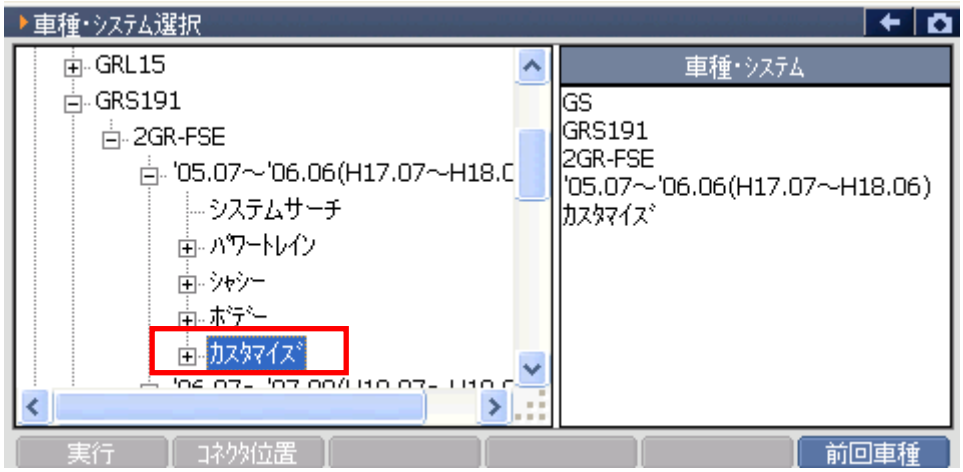
| | |
|---|---|
| ワイヤレス連動P/Wアップ/スマート | ワイヤレスキーと連動した<br>パワーウインドウアップ/スマート機能の<br>設定を変更します。 |
| ワイヤレス連動P/Wダウン | ワイヤレスキーと連動した<br>パワーウインドウダウン機能の<br>設定を変更します。 |

＜＜ワイパ＞＞

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| アングルモード | アングルモードの設定を変更します。 |
| ウォッシャ液だれ防止機能 | ウォッシャ液だれ防止機能の<br>設定を変更します。 |
| ウォッシャ液だれ防止機能時間 | ウォッシャ液だれ防止機能時間の<br>設定を変更します。 |
| リアワイパインターバルスピード | リアワイパインターバルスピードの<br>設定を変更します。 |
| リアワイパスピード | リアワイパスピードの設定を変更します。 |
| リバース連動リヤワイパ | リバース連動リヤワイパの設定を変更します。 |
| リヤウォッシャ液だれ防止機能 | リヤウォッシャ液だれ防止機能の<br>設定を変更します。 |
| リヤウォッシャ連動機能 | リヤウォッシャ連動機能の設定を変更します。 |
| リヤワイパLO時の停車間欠 | リヤワイパLO時の停車間欠の<br>設定を変更します。 |
| リヤワイパ戻りスピード | リヤワイパ戻りスピードの設定を変更します。 |
| ワイパLO時の停車間欠 | ワイパLO時の停車間欠の設定を変更します。 |
| 雨滴感知式オートワイパ | 雨滴感知式オートワイパの<br>設定を変更します。 |

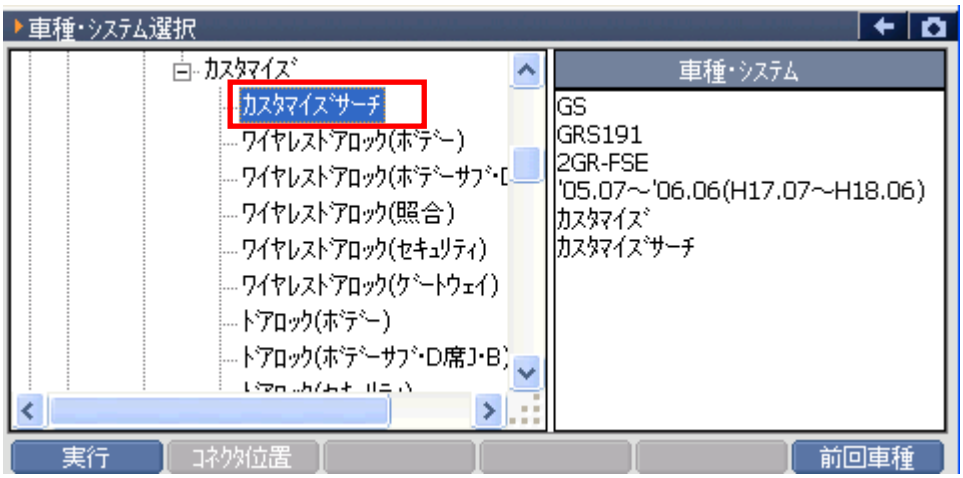
1）車種･システム選択画面で診断メニューにおいて『カスタマイズ』を選択して

ENTER ボタンを押してください。




〈図：カスタマイズを選択〉

2）対応しているカスタマイズ機能が表示されます。カスタマイズサーチを選択すると、車両に対応しているカスタマイズ機能を表示します。

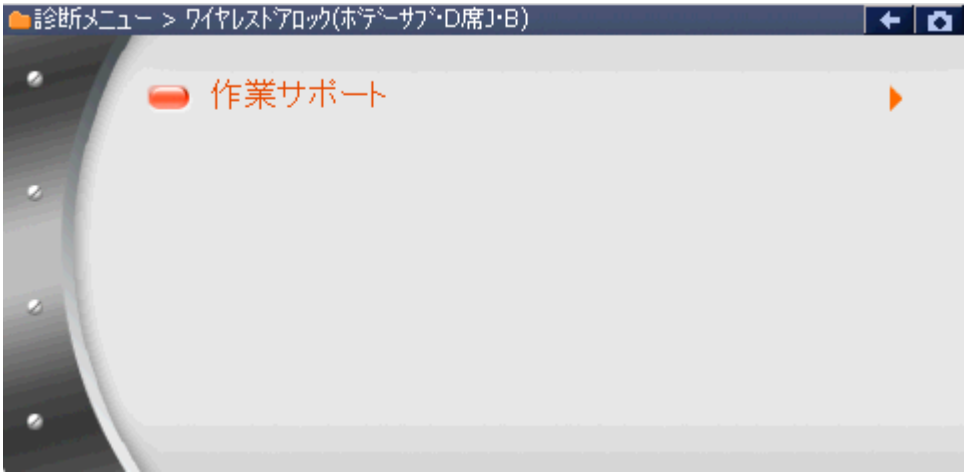



〈図：カスタマイズサーチを選択〉

3）カスタマイズサーチ結果は、以下のように表示されます。

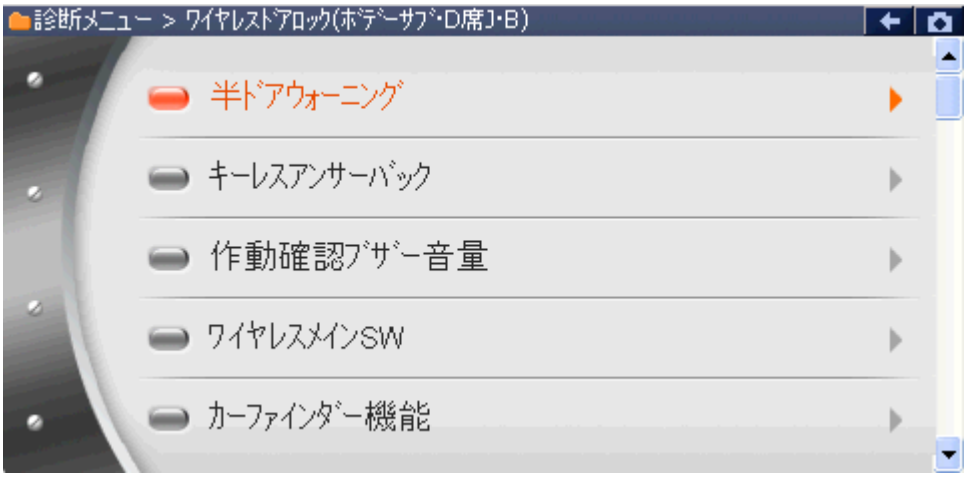
〈図：カスタマイズサーチ結果〉

4) ここでは、ワイヤレスドアロック(ボデーサブ･D席J･B)を選択した時の説明をします。作業サポートを選択してください。



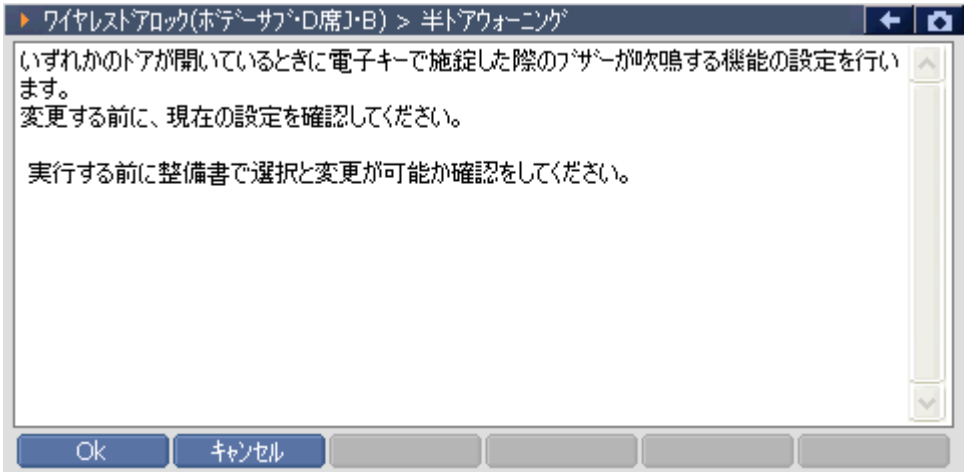

〈図：ワイヤレスドアロック(ボデーサブ･D席J･B)を選択した画面〉

5) 作業サポートを選択すると、対応するカスタマイズ項目が表示されます。ここでは、ここでは、半ドアウォーニングを選択した場合の説明をします。



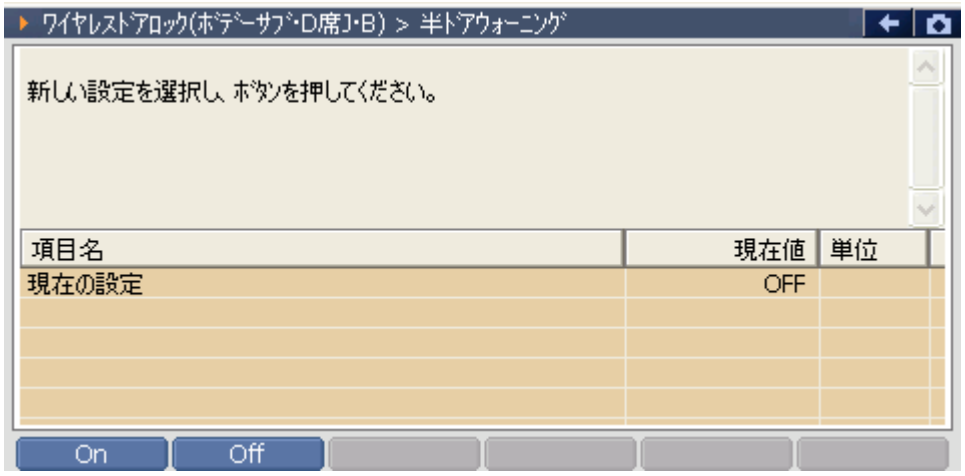

〈図：対応するカスタマイズ項目の表示〉

6）半ドアウォーニングのカスタマイズについての説明が表示されます。実行する場合はOKボタンを押してください。



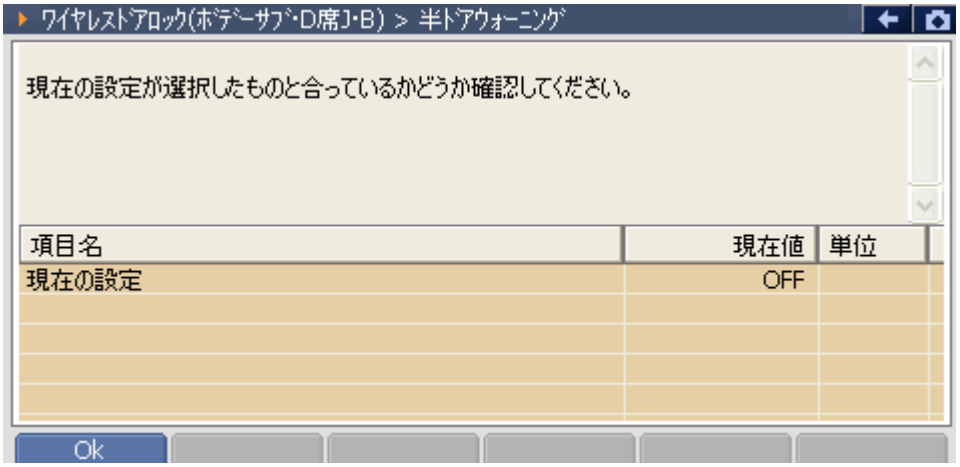

〈図：カスタマイズ　半ドアウォーニング注意事項〉

7）下記のように表示されます。変更する内容に合わせたボタンを選択してください。ここでは、Off を選択した場合について説明します。




〈図：カスタマイズ　半ドアウォーニング　設定変更画面〉

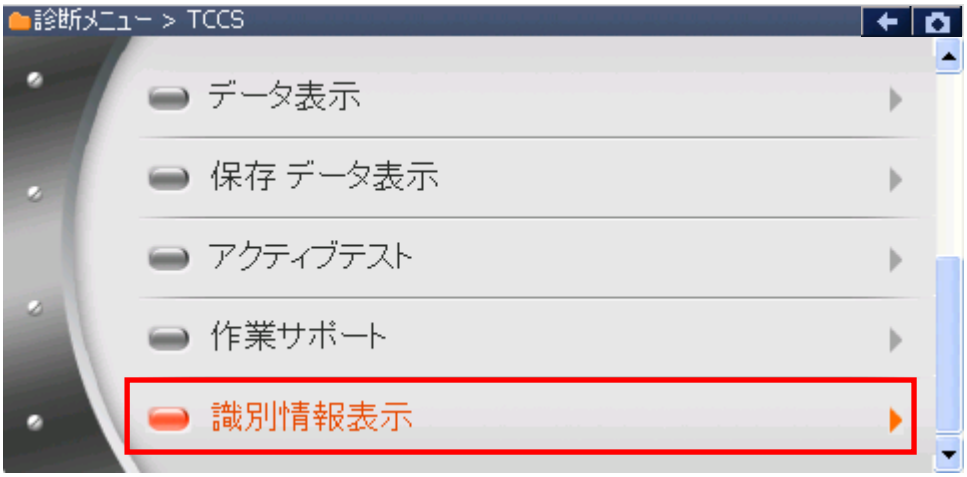
8）下記のように表示されます。OKボタンを押すと、カスタマイズ項目が表示される画面に移ります。




〈図：カスタマイズ　半ドアウォーニング　設定変更完了画面〉

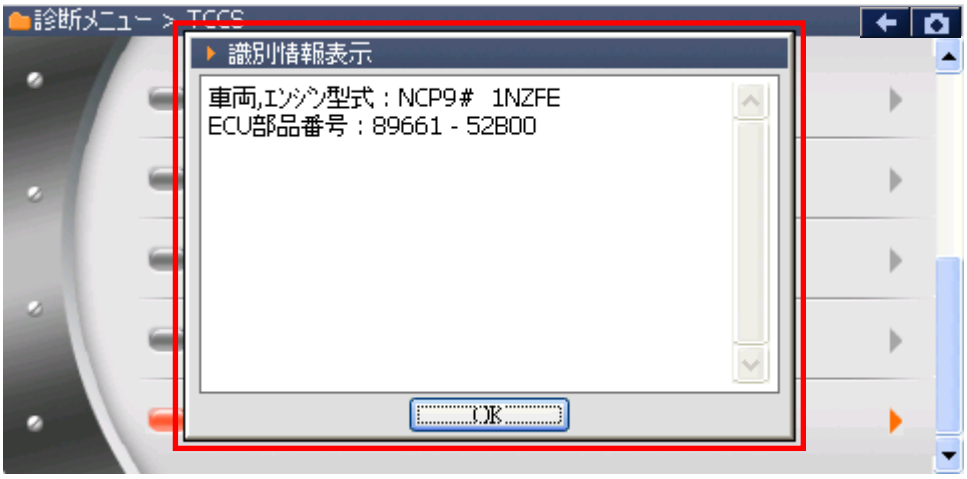
# 識別情報表示機能

9）診断メニューにおいて『識別情報表示』を選択して ENTER ボタンを押してください。




〈図：診断メニューにて識別情報表示を選択〉

10） 識別情報が表示されます。




〈図：識別情報表示画面〉

株式会社 インターサポート

〒310-0836

茨城県水戸市元吉田町329-5

Tel 029-248-0616 Fax 029-248-1609

http://www.inter-support.co.jp

## 製品保守センター

（修理のお問合せはこちら）

Tel 029-304-0185

## サポートセンター

（製品のご相談・ご質問はこちら）

Tel 0570-064-737 （ナビダイヤル※）

Fax 029-304-0167

※IP電話・PHSからはご利用出来ませんので、FAXでお問い合わせください。

2013年4月発行 第8版

本書を株式会社インターサポートの許可無く複写、複製、転載する事を禁じます。

本書に記載の製品、製品仕様、および使用方法は改良のために、将来予告なしに変更される場合があります。

G1PZFDN001-21-8